

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474001	事務事業名	地域密着型介護予防サービス給付費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【 】 %	
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
	【 】 %					
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援認定者	意図(どういう状態にしたい): 地域密着型サービス利用者の要支援状態の軽減や・悪化を予防でき、地域で自立した日常生活を営むことができる。	事業の内容 (手段)	居宅要介護被保険者が、指定地域密着型サービス事業者から指定地域密着型サービスを受けた時、費用額の9割を給付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	地域密着型サービス事業種類: 認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	【26年度】 サービス受給平均件数: 15 件														
事業目標	目標名	-	計算式	年間受給件数/12月		単位	件	事業費	直接事業費	千円	28,434	27,553	14,716	14,239	14,239
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財		千円	3,554	3,444	1,869	1,809	1,809	
	目標値	—	—	—	—	—	直接事業費		千円	12,977	13,097		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	実績値	13	18	15.0			(決算額) うち一財		千円	1,622	1,637				
	達成度(%)	—	—	—			正職員人件費		千円	366	148				
							人工数		人	0.05	0.02	0.02			
						支出コスト	千円	決) 13,343	決見) 13,245						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否						
	①	地域密着型介護予防サービス給付費事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	保険者負担分を給付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.02	0	13,097	否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業所が、適正な介護報酬請求をするよう、一層の厳格な審査をする必要がある。					A	改善案	—						
	②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	18年度から地域密着型施設の指定権限が県から市に移譲。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	更なる給付の適正化により、適正な介護報酬であるか否かを厳格に審査し、これまでと同様に不適正な請求分については返還させていくことが必要。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績及び施設整備進捗状況を把握し予算額を見積もった結果、477千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	474003	事務事業名	二次予防事業対象者把握事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者が住み慣れた地域で心豊かに、いきいきと安心して暮らしていけるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)介護予防の推進			【 高齢者福祉の充実 】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が健康でいきいきと生活を送ることができるよう、介護予防事業の取組みを推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【 高齢者福祉の充実 】	41.70%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 65歳以上の周南市民(要支援・要介護認定者を除く)	意図(どういう状態にしたい): 二次予防対象者(要介護認定を受けていない介護予防の取組みが必要な人)で介護予防が早期に発見され、介護予防事業に参加することにより、生活機能の維持向上が図れる。	事業の内容(手段)	65歳以上の高齢者(要支援・要介護認定者を除く)に対して厚労省作成の基本チェックリストを実施することにより、要介護状態等になるおそれの高い二次予防事業対象者を把握。二次予防事業の利用に結び付けることにより、要介護状態になることを予防する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	<ul style="list-style-type: none"> 基本チェックリスト送付者数 7,620人 ※71歳から85歳までの3歳刻みの年齢対象:71・74・77・80・83歳 基本チェックリスト実施数 5,377人 二次予防事業対象者決定者数 1,578人 二次予防事業対象者サービス利用勧奨訪問 696人 						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	10,707	6,450	8,605	4,051		4,051						
事業目標	目標名	基本チェックリスト実施数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,338	806	1,075	515	515
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,523	4,073				
	目標値	4,000	9,000	5,700	5,000	5,000	(決算額)	うち一財	千円	440	509			
	実績値	4,662	8,863	5,377			正職員人件費	千円	2,460	3,919				
	達成度(%)	116.6%	98.5%	94.3%			人工数	人	0.53	0.53	0.53			
							支出コスト	千円	決見) 5,983	決見) 4,073				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	二次予防事業対象者把握事業 (経常的事務事業)	65歳以上の周南市民(要支援・要介護認定者を除く)	要介護状態等になることを防ぐ。	要介護状態等になるおそれのある高齢者を早期に発見し、適切なサービス利用につなげる。	要介護状態等になるおそれのある高齢者は把握できた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		□ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 □ コスト □ その他	細事業評価											
	②	高齢者の実態に応じ、より身近な地域で継続した介護予防につながるよう、日常生活圏域別での高齢者の状態像や地域ニーズの把握等、効果的な介護予防スクリーニング方法を検討する必要がある。	B	改善案	①介護予防に効果的な年齢対象として、後期高齢者から3歳刻みの75歳・78歳・81歳、②地域で継続した介護予防の実現を目指し、今・岐山・鼓南地区における75歳から85歳を対象とした基本チェックリストの通知とする。									
	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他	細事業評価												
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成22年8月に地域支援事業実施要綱改正により、基本チェックリストのみで対象者選定が可能となった。	前年度までの指摘事項	基本チェックリスト未回収者の実態把握に重点的に取り組むことで、特定高齢者（二次予防事業対象者）を早期に発見し、介護予防に繋がりたい。	指摘事項に対する改善状況	基本チェックリスト送付対象者を拡大し、3歳刻みの年齢対象に通知することで、支援の必要な二次予防事業対象者把握を拡充した。基本チェックリスト未回収者の実態把握を行った結果、認知症等、問題のあるケースについて、全てが関係機関での支援に繋がっていた。
	細事業の課題・問題点	高齢者の実態に応じ、より身近な地域で継続した介護予防につながるよう、日常生活圏域別での高齢者の状態像や地域ニーズの把握等、効果的な介護予防スクリーニング方法を検討する必要がある。	事業全体の課題・問題点	高齢者の実態に応じ、より身近な地域で継続した介護予防につながるよう、日常生活圏域別での高齢者の状態像や地域ニーズの把握等、効果的な介護予防スクリーニング方法を検討する必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	二次予防事業対象者把握を入口とした介護予防事業は費用対効果の側面から有効性が低い。そのため、高齢者の実態に応じ、より身近な地域で継続した介護予防につながるよう、日常生活圏域別での高齢者の状態像や地域ニーズの把握等、効果的な介護予防スクリーニング方法を検討する必要がある。	改善案	①介護予防に効果的な年齢対象として、後期高齢者から3歳刻みの75歳・78歳・81歳、②地域で継続した介護予防の実現を目指し、今宿・岐山・鼓南地区における75歳から85歳を対象とした基本チェックリストの通知とする。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 介護予防事業は、介護費用抑制に必要不可欠であるため、重点的な事業運営が必要である。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
介護予防推進に向けた効果的な対象者把握の見直し ・通知方法の見直し	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474004	事務事業名	通所型介護予防事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者が住み慣れた地域で心豊かに、いきいきと安心して暮らしていけるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護予防の推進			【 高齢者福祉の充実 】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が健康でいきいきと生活を送ることができるよう、介護予防事業の取組みを推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【 高齢者福祉の充実 】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の二次予防事業対象者	意図(どういう状態にしたい): 二次予防事業対象者が要支援、要介護状態等になることを防ぐことができる。	事業の内容 (手段)	生活機能の低下した、二次予防事業対象者を対象に、心身の衰えを予防・改善し、要支援・要介護状態等になることを防ぐため通所型介護予防業務を介護予防通所事業所やフィットネスクラブ等に委託して実施する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	<ul style="list-style-type: none"> 二次予防事業対象者決定者数 1,417人 二次予防通所型介護予防事業参加者実人数 62人 二次予防教室型介護予防事業参加者実人数 14人 目標達成者数(事業評価指標) 50人 					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	9,612	9,612	7,776		43,346	43,346						
事業目標	目標名	二次予防通所型・教室型介護予防事業利用者数(実人数)	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,201	1,201	972	5,508	5,508
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,596	2,693			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	150	150	150	100	100	(決算額)	うち一財	千円	449	336			
	実績値	60	120	75			正職員人件費	千円			2,588			
	達成度(%)	40.0%	80.0%	50.0%			人工数	人	0.35	0.35	0.35			これまでの通所型介護予防事業を廃止し、生きがい活動支援通所事業を閉じこもり予防コースとして組み替えて実施
							支出コスト	千円	決見) 3,596	決見) 2,693				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	通所型介護予防事業 (経常的事務事業)	二次予防事業対象者	要介護状態等になることを防ぐ。	要介護状態等になるおそれのある高齢者が心身の衰えを予防・改善し、要介護状態になることを防ぐ。	二次予防事業サービス利用者のうち、目標達成者(心身の衰えの予防・改善につながった者)は約65.8%であった。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.35	0	2,693	可	可			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
①要支援・要介護認定卒業者の介護予防の受け皿ともなり得るような利用の仕組みを検討する必要がある。 ②地域で継続した介護予防につながるようなサービス受託者を増やすことを検討する必要がある。						B	改善案	①要支援・要介護認定卒業者の支援の場ができるよう関係機関(地域包括支援センターや指定居宅介護支援事業者)への周知を図る。 ②サービス受託者としてフィットネスクラブ等の拡充を検討する。						
②														
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
細事業の課題							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	平成22年8月に地域支援事業実施要綱改正により、基本チェックリストのみで対象者選定が可能となった。		介護保険制度の通所介護サービス事業との整合性を図り、適正な負担に基づく、利用者の心身状態に応じたサービスを実施されたい。
	①要支援・要介護認定卒業者の介護予防の受け皿ともなり得るような利用の仕組みを検討する必要がある。 ②地域で継続した介護予防につながるようなサービス受託者を増やすことを検討する必要がある。	事業全体の課題・問題点	①要支援・要介護認定卒業者の介護予防の受け皿ともなり得るような利用の仕組みを検討する必要がある。 ②地域で継続した介護予防につながるようなサービス受託者を増やすことを検討する必要がある。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由 サービス利用者は、二次予防事業対象者の約5%と伸び悩んでいるが、目標達成者は約7割であり、利用効果は期待できる事業である。サービス利用終了後も、地域で継続した介護予防につながるような利用の仕組みを検討する必要がある。	改善案 ①要支援・要介護認定卒業者の支援の場に行けるよう関係機関(地域包括支援センターや指定居宅介護支援事業者)への周知を図る。 ②サービス受託者としてフィットネスクラブ等の拡充を検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 必要な事業であるが、介護保険制度の通所サービスとの整合性を図りながら、利用者拡大に向けた対象者の利用しやすい仕組みを検討する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
29年度からの「介護予防・日常生活支援総合事業」への円滑な移行を見据え、介護予防・生活支援サービスを組み合わせた内容の充実を図る。 ・生きがい活動支援通所事業の移行

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474006	事務事業名	訪問型介護予防事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 介護予防の推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、介護予防事業を推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 二次予防事業対象者 (運動機能低下・認知症)項目にチェックがある対象者	意図(どういう状態にしたい): 通所の利用が困難な二次予防事業対象者(運動機能低下・認知症)が自宅で指導助言を受けることができる。 ・地域での介護予防教室の参加につながる	事業の内容 (手段)	閉じこもりがちで通所型介護予防事業に適さない二次予防事業対象高齢者のために、保健師、看護師が定期的に訪問指導を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	基本チェックリストの結果、栄養改善認知症予防・運動の必要なものに訪問指導を行った。(平成26年度 訪問実績延696名)内訳:運動3 認知症にチェックがある対象者245人 訪問実施数155人					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	2,130	2,130	2,182		6,802	6,802						
事業目標	目標名	介護予防対象への訪問	計算式	訪問実施数/訪問対象者	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	265	265	273	864	864
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	920	1,063		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	100	100	100.0	100.0	100.0	(決算額)	うち一財	千円	115	133			
	実績値	74	85	85.4			正職員人件費	千円	0	0		一般会計で実施してきた軽度生活支援事業を、訪問型介護予防事業として組み替えて実施		
	達成度(%)	74.0%	85.0%	85.4%			人工数	人	0.00	0.00	0.00			
							支出コスト	千円	決) 920	決見) 1,063				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	訪問型介護予防事業	二次予防事業対象者	通所利用困難者が要介護状態等になることを防ぐため、認知症予防や栄養改善の指導を行う。	要介護状態等になるおそれのある高齢者の心身の衰えを予防・改善し、要介護状態になることを防ぐ。	看護師・栄養士等の専門職による指導・助言ができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0	0.73	1,063	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 訪問により、通所の介護予防事業につなげたり、地域での自主的な教室参加につなげるなど、直接わかりやすいサービスに努める					B	改善案	必要な対象者には、定期的な訪問を行い、包括との連携や適切なサービス紹介を行い地域での介護サービスの現状の周知を図る訪問を委託している職員のスキルの向上					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年8月から看護師による認知症への訪問開始。基本チェックリスト未回収者への訪問を24年度から実施したが、大きな効果がみられないため26年度は実施せず。	前年度までの指摘事項	通所が苦手(不可能)な対象者への対応になるが、積極的な訪問指導を実施し、介護予防へつなげる。事業は必要であるが、逐次、効果的・効率的な事業運営になっているか見直しをしていく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	介護予防に対する意識を訪問することで意識させるよう資料等の工夫。訪問により地域でおこなっている参加しやすい事業の説明をおこなった。
	細事業の課題・問題点	訪問の結果どうい効果があったのか検証する必要がある。		事業全体の課題・問題点		1回の訪問で終わることが多く、高齢者が信用したり実際に行動を起こしてもらうには、複数の訪問も場合により必要。高齢者訪問によるニーズ把握をおこなっていく必要もある。

所管課評価						
評価	C	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	総合事業に向けて、どんな方法での訪問が必要なのか見直しが必要	改善案	訪問の際には、簡単なアンケートなど行い日常の困りごとや、生活を継続させるためのニーズを聞き取る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 事業は必要であるが、効果的・効率的な事業運営になっているか見直しをしていく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
介護保険制度の改正に伴い、この事業に関しては軽度生活援助事業をこの事業へ移行させる。28年度は利用者の実態を把握しつつ、利用の内容や条件などに反映させる。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474014	事務事業名	地域介護予防活動支援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を活かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)介護予防の推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康でいきいきとした生活を送ることができるよう介護予防事業を推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): おおむね65歳以上の周南市民	意図(どういう状態にしたい): 地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施されるよう社会資源の活用や人的ネットワークの構築を図る	事業の内容 (手段)	地域において介護予防に資する取り組みが主体的に実施されるよう育成・支援を図るため、介護予防リーダー養成講座、ふれあいいきいきサロン担い手講座、機能訓練事業、寝たきり防止事業等を実施する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●自主活動グループ・・・サロン数178、介護予防教室OB会自主グループ数24 ●ねたきり防止事業・・・【市主催】足腰らくらく教室:2会場 実人数37人 延人数341人 しゃっきり介護予防教室:3会場 実人数31人 延人数297人 【包括・在介主催】実施回数34回 参加者数(実人数)458人 ●機能訓練延利用者数計22,620人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	27,399	28,608	30,430	34,132		34,132						
事業目標	目標名	介護予防自主グループ数(サロン+OB会)	計算式	介護予防自主グループ数(サロン+OB会)	単位	箇所	(予算額)	うち一財	千円	3,424	3,578	3,867	4,336	4,336
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	22,140	25,613				
	目標値	180.0	200.0	200.0	210.0	210.0	(決算額)	うち一財	千円	3,310	3,202			
	実績値	179.0	196.0	202.0			正職員人件費	千円	5,933	5,990				
	達成度(%)	99.4%	98.0%	101.0%			人工数	人	0.81	0.81	1.04			
							支出コスト	千円	決) 28,073	決見) 25,613				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		地域介護予防活動支援事業 (経常的事務事業)	おおむね65歳以上の高齢者	地域の高齢者自らが主体的に介護予防の取り組みができるよう支援を行う。	介護予防リーダーの活動、育成支援を行う。 しゃっきりリーダーによるしゃっきり体操DVD作成、出前講座開催による普及活動	正職員	0.3	直接事業費	60	委託	否	臨時嘱託	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ①高齢者人口増加に伴い、介護予防リーダーの活動をさらに推進して行く必要がある。 ②介護予防リーダーが地域で継続して活動して行けるように支援する必要がある。			B	改善案	しゃっきりリーダー活動推進のため、養成講座を開催し、リーダー数を増やす。						
	②		ふれあいいきいきサロン助成事業 (経常的事務事業)	おおむね65歳以上の高齢者	閉じこもりがちな高齢者に地域で交流を深めるため活動支援を図る	サロンにおける活動支援を行う。 サロン担い手の育成支援を行う。	正職員	0.2	直接事業費	9,670	委託	可	臨時嘱託	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 サロンでの介護予防活動をもっと充実させる必要がある。			B	改善案	サロン担い手に、いきいき百歳体操を提案し、積極的に介護予防に取り組むことができるよう支援する。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	③	機能訓練事業 (経常的事務事業)	おおむね65歳以上の高齢者	心身機能の維持回復に必要な訓練を行うことにより、日常生活の自立を助け、要介護状態となることを予	介護予防の取り組みが継続的に実施できる	社会福祉協議会に委託。利用者は運動機能向上に取り組んだ。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	可	可
				<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他	細事業評価									
	細事業の課題	機能訓練としてさらに充実させる必要がある。			B	改善案	効果的な介護予防について、いきいき百歳体操を取り入れ、充実させる。							
	④	ねたきり防止事業 (経常的事務事業)	おおむね65歳以上の高齢者	要介護状態になる恐れのある高齢者に対して、教室を開催し、自立生活の延伸を図る。	教室終了後も、介護予防の取り組みが継続的に実施できる。	包括・在介に委託:介護予防に関する企画事業を実施。 市主催:介護予防教室を実施し、1か所、終了後も住民主体で継続実		0.22		5,156	可	可		
				<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他	細事業評価									
	細事業の課題	介護予防が地域で継続的に実施されるように事業内容に見直しが必要である。			B	改善案	介護予防への取り組みが地域で継続されるよう、いきいき百歳体操を取り入れた事業展開を行う。							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業は必要であるが、逐次、効果的、効率的な事業運営になっているか見直しをされたい。	指摘事項に対する改善状況	各事業において、現状を把握し、事業内容の改善を検討している。
	細事業の課題・問題点	介護予防リーダーの活動をさらに推進し、地域で継続して活動できるように支援する必要がある。サロンでの介護予防活動をもっと充実させる必要がある。機能訓練としてさらに充実させる必要がある。介護予防が地域で継続的に実施されるように事業内容に見直しが必要である。	事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市民が主体的に介護予防に取り組めるような支援が必要	改善案	いきいき百歳体操を中心とした効果的な介護予防をしゃっきりリーダーと推進し、必要な支援を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	必要な事業であるが、効果的、効率的な事業運営になるよう、見直ししていくことが必要である。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

そう総合	
介護予防リーダーについては、引き続きリーダーの拡大と質の向上をねらい、養成講座等を実施。機能訓練事業・ふれあいいきいきサロンにおいては、効果的な事業になるよう委託事業者と常時協議。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474019	事務事業名	介護保険一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護保険制度のより一層の理解を深めるための普及啓発活動を進めます。介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): 介護保険特別会計に必要な事務を、適正に行うことができる。	事業の内容 (手段)	地域密着型サービス運営委員会等の会議の開催、介護保険サービス利用者への諸通知、介護保険利用案内パンフレットの作成等の介護保険事業に係る一般事務。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	事業費						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	郵送料、封筒・パンフレット印刷代、その他事務経費等						直接事業費	千円	5,637	25,957	32,651	29,388	29,411
						(予算額) うち一財	千円	5,637	25,957	32,651	29,388	29,388	
事業目標	目標名	—				単位	—	直接事業費	千円	5,671	22,310	対27年度増減理由 対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	5,671	22,310	制度改正のシステム改修費をH26、H27と計上 無		
	目標値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	10,255	12,276			
	実績値	—	—	—	—	—	人工数	人	1.40	1.66	2.25		
	達成度(%)	—	—	—	—	—	支出コスト	千円	決) 15,926	決見) 34,586			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①		窓口、電話対応処理 (経常的事務事業)	被保険者、介護保険事業者等	被保険者等から介護保険への理解、信頼、協力が深まる。	適切かつ円滑な介護保険運営を目指す。	介護保険運営に関する必要な事務処理等の遂行。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
							0.73	0.2	22,310	否	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 職員が、市民に対し適切に(簡潔に、分かりよく、短時間で)説明ができることが必要。				細事業評価						
	②		照会回答事務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	介護保険特別会計に必要な事務の適正化	適切な介護保険運営を目指す。	速やかな文書等の回答処理	0.42	0		否	否	
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
						A 改善案 —							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	予算決算事務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	介護保険特別会計に必要な事務の適正化	適切な介護保険運営を目指す。	介護保険会計に対する適正な予算決算書の作成。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
							0.23	0				否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	A	改善案	—										
④	議会関係その他事務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	介護保険特別会計に必要な事務の適正化	適切な介護保険運営を目指す。	議会の質疑等に対し適切な回答であった。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時			
						0.28	0				否	否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	A	改善案	—										

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	高齢な被保険者の増加、制度の多様化等により、問い合わせ件数が増加し、また個々の相談対応が長時間化している。		—
	細事業の課題・問題点	職員が少ない中、問合せ件数の増加および長時間化していることから、簡潔に、分かりやすく、短時間に説明するために、職員の技量向がさらに必要。	事業全体の課題・問題点
			同左

所管課評価

評価	A	B	C	D	評価理由	改善案	
	A	計画どおりに事業を進めた	実施方法やコスト等の見直しが必要	事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要	休止・廃止の検討	介護保険事業に必要な事務を適正に支出しているため	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A
	適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
運営に必要な予算計上を行った結果、3,263千円減額。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474020	事務事業名	介護予防普及啓発事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を活かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 介護予防の推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康でいきいきとした生活を送ることができるよう介護予防事業を推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): おおむね65歳以上の周南市民	意図(どういう状態にしたい): 高齢者が介護予防に関する知識や方法を習得して実践することにより、要介護状態等になることを自ら予防する。	事業の内容 (手段)	高齢者が、要介護状態等にならないよう介護予防に関する知識等を普及啓発 啓発内容・・・介護予防総論、運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等 実施場所・・・いきいきサロン、老人クラブ等での出前トーク 保健センター、公民館等で各種介護予防教室を企画開催		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	出前トーク 46回 1,314人 しゃっきり体操講座 40回 1,687人 介護予防運動講座:9回/年 健康寿命のびるセミナー:4回/1コース×3回 市広報、市政だより、しゃっきり通信(介護予防に関する記事)2月に1回掲載。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	4,252	4,151	3,692	5,110		5,110						
事業目標	目標名	普及啓発講座等参加者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	502	508	483	649	649
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,398	1,500				
	目標値	6,000.0	4,000.0	5,500.0	5,000.0	5,000.0	(決算額)	うち一財	千円	174	188			
	実績値	4,103.0	5,013.0	4,709.0			正職員人件費	千円	4,761	4,807				
	達成度(%)	68.4%	125.3%	85.6%			人工数	人	0.65	0.65	0.51			
							支出コスト	千円	決) 6,159	決見) 1,500				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 介護予防普及啓発事業 (経常的事務事業)		おおむね65歳以上の一般市民	要介護状態認ることの予防と悪化防止	高齢者が介護予防に関する知識や方法を習得して実践できる	講座回数実績は減少したが、高齢者が歩いて通える身近な地区単位で講座、教室を開催し、介護予防の知識を広く普及した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	②						0.51	0.82	4,151					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ①市民が取り組みやすい介護予防の方法を提案することが必要である。 ②広く普及啓発を行うために、地区組織と連携した事業実施が有効であるが、調整に時間がかかる。				B	改善案	①効果的な手法としていきいき百歳体操を推進する。 ②地域づくりに関わる各部署と連携を取り、効率的に地域への介護予防の普及を図る。					
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高齢化社会の進展により、徐々にではあるが、介護予防への関心が高まりつつある。	前年度までの指摘事項	事業は必要であるが、逐次、効果的、効率的な事業運営になっているか見直されたい。	指摘事項に対する改善状況	講座、教室の開催については、毎年、内容を改善し、より効果的な方法を検討している。
	細事業の課題・問題点	市民が取り組みやすい介護予防の方法を提案することが必要である。広く普及啓発を行うために、地区組織と連携した事業実施が有効であるが、調整に時間がかかる。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	高齢者自身が主体的に介護予防に取り組めるよう、介護予防を広く普及啓発することが必要である。	改善案	地域づくりによる介護予防を効率的に進め、広く普及啓発を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 必要な事業であるが、効果的、効率的な事業運営になるよう、見直していくことが必要である。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
住民主体の効果的な介護予防が継続的に拡大している。さらに他部署、地区組織と連携し、広く推進していくため体操に関する需用費を増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474025	事務事業名	賦課徴収事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	【高齢者福祉の充実】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 第1号被保険者(65歳以上)	意図(どういう状態にしたい): 介護保険料の適正な賦課・収納を行うことで、介護保険財政の健全な運営を図ることができる	事業の内容 (手段)	介護保険料納入通知書等の発送及び口座振替処理等、介護保険料の賦課徴収業務を行う		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	収納率(現年度+過年度) H23年度:96.42% H24年度:96.93% H25年度:96.89% H26年度:96.65%						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	6,838	7,381	7,412	7,380	7,380
事業目標	目標名	-			計算式	(収納済額-還付未済額)/調定額	単位	%						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度								
	目標値	—	—	—	—	—								
	実績値	96.9	96.9	96.7										
	達成度(%)	—	—	—										
							事業費	(予算額) うち一財	千円	6,838	7,381	7,412	7,080	7,080
						事業費	直接事業費	千円	6,460	6,722		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
						事業費	(決算額) うち一財	千円	6,460	6,722				
						事業費	正職員人件費	千円	17,214	14,642				
						事業費	人工数	人	2.35	1.98	2.07			
						事業費	支出コスト	千円	決) 23,674	決見) 21,364				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 賦課関係事務 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	介護保険料の適正な賦課・円滑な保険料の徴収	適正な賦課	当初賦課、随時賦課の処理及び納付書の作成等の実施。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.66	0	2,241	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
							A	改善案	—					
	② 納付関係事務 (経常的事務事業)		被保険者	受領すべき保険料の受領	確実な保険料の受領	窓口での正確な納付の受付実施及び電話での納付促進。	0.66	0.3	2,240	否	可			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
						A	改善案	—						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	徴収関係事務	周南市が行う事務事業	介護保険料の適正な賦課・円滑な保険料の徴収	収納率の向上	現年滞納分及び過年度滞納分の納付催告、受領。	0.66	0.1	2,241	否	可	
		(経常的業務)										
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他		細事業評価							
			過年度分収納を向上させる必要がある。		A	改善案	—					
	④											
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価								
					改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
課題・問題等	取納率はほぼ横ばいであるが、高齢化率の上昇とともに対象者が増加し続けている。		—
	細事業の課題・問題点	過年度滞納分について、現年度の時点で収納方法の多様化を図り過年度滞納とならないよう促す必要がある。	事業全体の課題・問題点
		高齢化率の上昇とともに対象者が今後も増加し続けることから、事務の効率化等を図る必要がある。	

所管課評価

評価	A	B	C	D	評価理由	改善案		
	A	計画どおりに事業を進めた	実施方法やコスト等の見直しが必要	事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要	休止・廃止の検討	賦課徴収は介護保険法による事務であるため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A
	適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
賦課徴収に必要な予算計上を行った結果、32千円減額。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	474027	事務事業名	介護認定審査会費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開				25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 介護保険サービスの利用を希望し要介護認定申請をした被保険者		意図(どういう状態にしたい): 心身の状況に応じた適正な介護給付のための要介護認定を行う。		事業の内容(手段)	要介護認定に必要な審査会資料の作成及び認定審査会(毎週1回平均5合議体で150件程度を審査)の開催する。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	要介護認定申請にがあったものついて、審査会を延べ259回開催し、7,770件を審査した。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	28,018	25,947	25,412	23,289	23,289
事業目標	目標名	—		計算式	審査件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	27,984	25,913	25,377	23,261	23,261
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	事業費	直接事業費	千円	23,035	21,952		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	23,035	21,952		高齢者の増加に伴い、要介護認定申請の増加が見込まれるため	高齢者の増加に伴い、要介護認定申請の増加が見込まれるため	
	実績値	7,442.0	7,625.0	7,770.0			正職員人件費	千円	17,946	18,118				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	2.45	2.45	2.00			
							支出コスト	千円	決) 40,981	決見) 21,952				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	① 介護認定審査会費 (経常的事務事業)		介護保険サービスの利用を希望し要介護認定申請をした被保険者	心身の状況に応じた適正な介護給付のための要介護認定を行う。	全国一律の基準に基づいた、公正かつ的確な認定審査	訪問調査票、主治医意見書をもとに認定審査会資料を作成し、要介護認定を実施	正職員 2 臨時等 5	直接事業費 21,952	委託 否	臨時嘱託 可				
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 医療分野における認定審査会委員の確保が困難である。				細事業評価	—						
	②						A	改善案						
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案							
④														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	審査件数は、平成23年4月、平成24年4月に認定有効期間の設定可能な範囲が拡大されたことに伴い一旦減少したが、平成25年度からは高齢者の増加に伴い増加傾向にある。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	医療分野における認定審査会委員の確保が困難である。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	被保険者が介護サービスを受けるために必要な業務であり、これまでどおり事務の効率化を図りながら実施する必要がある。認定審査は概ね滞りなく進んでいる。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
嘱託職員1名(事業所委託チェック)の報酬を「介護給付等費用適正化事業費」に組み替えた。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474029	事務事業名	認定調査等費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態となったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスをはじめとした介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 介護保険サービスの利用を希望し要介護認定申請をした被保険者	意図(どういう状態にしたい): 心身の状況に応じた適正な介護給付のための要介護認定に必要な資料の作成	事業の内容 (手段)	介護認定審査会資料のもととなる訪問調査票の作成及び主治医意見書の聴取		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	要介護認定申請があったものついて、7,800件の認定調査を実施した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
									直接事業費	千円	77,737	80,503	82,174	81,053	81,053
事業目標	目標名	—			計算式	認定調査件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	77,651	80,416	82,078	80,945	80,945
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	69,206	67,466		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	69,206	67,466		高齢者の増加に伴い、要介護認定申請の増加が見込まれるため	高齢者の増加に伴い、要介護認定申請の増加が見込まれるため		
	実績値	7,533.0	7,777.0	7,790.0			正職員人件費	千円	14,723	14,864					
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	2.01	2.01	2.00				
							支出コスト	千円	決) 83,929	決見) 67,466					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	認定調査等費 (経常的事務事業)	介護保険サービスの利用を希望し要介護認定申請をした被保険者	心身の状況に応じた適正な介護給付のための要介護認定に必要な資料の作成	全国一律の基準に基づいた、公平かつ的確な認定調査の実施	訪問調査員による調査票の作成等	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							2	13.42	67,466	可	可				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 更なる公正かつ的確な認定が必要である。					細事業評価								
							A	改善案	—						
②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価									
							改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高齢者の増加に伴い認定調査件数は増加傾向にある。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・全国一律の基準に基づいた、公正かつ的確な認定調査を行うための調査員のスキルアップ ・調査員に適した人材の確保 	事業全体の課題・問題点		同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	被保険者が介護サービスを受けるために必要な業務であり、これまでどおり事務の効率化を図りながら実施する必要がある。認定審査は概ね滞りなく進んでいる。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
認定調査に必要な調査員の増員をし、適正な事務体制に則したものとした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474031	事務事業名	居宅介護サービス給付費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要介護認定者	意図(どういう状態にしたい): 居宅介護サービス利用者の要介護状態の軽減や・悪化を予防でき、自宅(地域)で自立した日常生活を営むことができる。	事業の内容 (手段)	居宅要介護被保険者が、指定居宅サービス事業者から指定居宅サービスを受けた時、費用額の9割を給付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・訪問サービス受給平均件数: 2,037 件/月 合計 4,657 件/月		・通所介護サービス受給平均件数: 2,299 件/月 (要介護1~5を対象とした居宅サービス)		・短期入所サービス受給平均件数: 321 件/月		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	3,729,464	3,991,635	4,342,304	4,244,723		4,372,065					
事業目標	目標名	-	計算式	年間受給件数/12月	単位	件	(予算額) うち一財	千円	466,183	498,954	551,661	539,165	546,508
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,711,426	3,968,622		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	463,928	496,078		認定者数の増加	認定者数の増加
	実績値	3,962.0	4,243.0	4,657.0			正職員人件費	千円	1,099	148			
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.15	0.02	0.02		
							支出コスト	千円	決) 3,712,525	決見) 3,968,770			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①	居宅介護サービス給付事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	保険者負担分を給付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							0.02	0	3,968,622	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業所が、適正な介護報酬請求をするよう、一層の厳格な審査をする必要がある。					A	改善案	—				
	②												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	—					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	認定者の増加に伴い、利用者数が増加することにより、給付費が増えている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	更なる給付の適正化により、適正な介護報酬であるか否かを厳格に審査し、これまでと同様に不適正な請求分については返還させていくことが必要。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績及び施設整備進捗状況を把握し予算額を見積もった結果、97,581千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474035	事務事業名	施設介護サービス給付費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要介護認定者	意図(どういう状態にしたい): 施設介護サービス利用者の要介護状態の軽減や・悪化を予防でき、自立した日常生活を営むことができる。	事業の内容 (手段)	施設入所要介護被保険者が、指定施設サービスを受けたとき、費用額(食費、居住費、日常生活費を除く)の9割を給付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	介護老人福祉施設受給平均件数:		562 件/月		合計 1183 件/月		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	介護老人保健施設受給平均件数:		450 件/月		(要介護1以上の認定者を対象)									
【26年度】	介護療養型医療施設受給平均件数		171 件/月				(予算額)	うち一財	千円	502,433	483,037	473,544	492,715	499,425
事業目標	目標名	-		計算式	年間受給件数/12月		単位	件	直接事業費	千円	3,675,721	3,760,885	対27年度増減理由 認定者数の増加	対28年度増減理由 認定者数の増加
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	459,465	470,111			
	目標値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	366	148				
	実績値	1,115	1,163	1,183.0			人工数	人	0.05	0.02	0.02			
	達成度(%)	—	—	—			支出コスト	千円	決) 3,676,087	決見) 3,761,033				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	施設介護サービス給付事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	施設介護サービス利用者の要介護状態の軽減や・悪化を予防	利用者が施設で自立した日常生活を営むことを支援	費用(基準額)の9割を給付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02	0	3,760,885	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業所が、適正な介護報酬請求をするよう、一層の厳格な審査をする必要がある。					A	改善案	—					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	—						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	施設整備による増床により、利用者数の増加から給付費が増えている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	更なる給付の適正化により、適正な介護報酬であるか否かを厳格に審査し、これまでと同様に不適正な請求分については返還させていくことが必要。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績及び施設整備進捗状況を把握し予算額を見積もった結果、151,614千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474039	事務事業名	居宅介護福祉用具購入費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援・要介護認定者	意図(どういう状態にしたい): 居宅介護サービス利用者の要介護状態の軽減や・悪化を予防でき、自宅(地域)で自立した日常生活を営むことができる。	事業の内容 (手段)	居宅要介護被保険者が、特定介護福祉用具を購入した時、市が必要と認めた場合に、費用額の9割を支給する。支給限度額あり。受領委任払いの導入により、利用者の負担は軽減。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	福祉用具購入対象給付物品:入浴補助用具腰掛便座など(購入金額10万円まで)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	サービス受給平均件数: 32 件/月							直接事業費	千円	9,212	12,208	10,519	12,290	12,659
事業目標	目標名	-	計算式	年間受給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	1,152	1,526	1,336	1,561	1,582
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	8,105	10,075		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	1,013	1,259		利用者数増		
	実績値	28.0	30.0	32.0			正職員人件費	千円	733	666				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.10	0.09	0.16			
							支出コスト	千円	決) 8,838	決見) 10,741				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	居宅介護福祉用具購入事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	保険者負担分を給付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.09	0	10,075	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							A	改善案	—					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	認定者者数の増加に伴い利用者は増えている。 H26年1月より受領委任払いの導入し、利用者の利便性の向上を図っている。	—		—
	特になし			同左

所管課評価

評価	A	B	C	D	評価理由	改善案
	計画どおりに事業を進めた	実施方法やコスト等の見直しが必要	事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要	休止・廃止の検討	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A
	適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、1,771千円増額。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474041	事務事業名	居宅介護住宅改修費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援・要介護認定者	意図(どういう状態にしたい): 居宅介護サービス利用者の要介護状態の軽減や・悪化を予防でき、自宅(地域)で自立した日常生活を営むことができる。	事業の内容 (手段)	居宅要介護被保険者が、事前に市が必要と認めた住宅改修を行った場合に、費用額の9割を支給する。支給限度額あり。受領委任払いの導入により、利用者の負担は軽減。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	住宅改修給付対象施工種類: 手すり、段差解消ほか(施工金額20万円まで)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	サービス受給平均件数: 31 件/月							直接事業費	千円	29,167	29,762	34,616	30,127	31,031
事業目標	目標名	-	計算式	年間受給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	3,646	3,720	4,398	3,827	3,879
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	23,440	27,614		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	2,930	3,452		H27予算過大見込	認定者数の増加	
	実績値	28	24	31.0			正職員人件費	千円	1,099	1,035				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.15	0.14	0.19			
							支出コスト	千円	決) 24,539	決見) 28,649				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 居宅介護住宅改修事業 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	保険者負担分を給付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.14	0	27,614	否	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
							A	改善案	—					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	認定者数の増加に伴い増えている。 H26年1月より受領委任払いの導入し、利用者の利便性の向上を図っている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、4,489千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474043	事務事業名	居宅介護サービス計画給付費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要介護認定者	意図(どういう状態にしたい): 居宅介護サービス利用者の要介護状態の軽減や・悪化を予防でき、自宅(地域)で自立した日常生活を営むことができる。	事業の内容 (手段)	居宅要介護被保険者が、指定居宅介護支援事業者から指定居宅介護支援(ケアプランの策定)を受けた時、費用額の全額を給付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	居宅支援事業所のケアマネが本人や家族と話し合い必要な介護サービスの計画作成						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	サービス受給平均件数: 2,731 件/月							直接事業費	千円	421,260	388,115	472,092	507,261	522,479
事業目標	目標名	-	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	52,658	48,514	59,976	64,433	65,310
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	398,554	433,744		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	49,819	54,218		認定者数の増加	認定者数の増加	
	実績値	2,418	2,538	2,731.0			正職員人件費	千円	366	444				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.05	0.06	0.06			
							支出コスト	千円	決) 398,920	決見) 434,188				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	① 居宅介護サービス計画給付事業 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	自宅(地域)で自立した日常生活の支援	保険者負担分を給付		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業所が、適正な居宅サービス計画(ケアプラン)作成をするよう、一層の厳格な審査をする必要がある。				A	改善案	—					
	②													
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	認定者の増加に伴い、利用者数が増加することにより、給付費が増えている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	ケアプランは介護保険サービス提供の要であることから、ケアプランの点検については、専門担当職員により、適正なケアプランであるか否かを厳格に審査することが必要。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、35,169千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474047	事務事業名	介護予防サービス給付費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援認定者	意図(どういう状態にしたい): 居宅要支援被保険者が、指定介護予防サービス事業者から指定介護予防サービスを受けた時、費用(基準額)の9割を給付する	事業の内容 (手段)	居宅介護サービス利用者の要支援状態の軽減や・悪化を予防する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・訪問サービス受給平均件数: 562 件/月 合計 1,458 件/月		事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	・通所介護サービス受給平均件数: 887 件/月 (要支援1・2を対象とした居宅サービス)			直接事業費	千円	528,645	560,825	532,643	549,098	466,733			
事業目標	目標名	-	計算式	年間受給件数/12月	単位	件	(予算額) うち一財	千円	66,081	70,103	68,048	69,745	58,342
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	505,616	514,793	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	63,202	64,349	認定者数の増加		認定者数の増加
	実績値	1,353.0	1,447.0	1,458.0			正職員人件費	千円	733	148			
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.10	0.02	0.02		
							支出コスト	千円	決) 506,349	決見) 514,941			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
	①	介護予防サービス給付事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	居宅予防サービス利用者の要介護状態の軽減や・悪化を予防	自宅(地域)で自立した日常生活	保険者負担分を給付		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
						0.02	0	64,349	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業所が、適正な介護報酬請求をするよう、一層の厳格な審査をする必要がある。					A	改善案	—				
②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	認定者の増加に伴い、利用者数が増加することにより、給付費が増えている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	更なる給付の適正化により、適正な介護報酬であるか否かを厳格に審査し、これまでと同様に不適正な請求分については返還させていくことが必要。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、16,455千円増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474051	事務事業名	介護予防福祉用具購入費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援認定者	意図(どういう状態にしたい): 居宅介護サービス利用者の要支援状態の軽減や・悪化を予防でき、自宅(地域)で自立した日常生活を営むことができる	事業の内容 (手段)	居宅要介護被保険者が、特定介護福祉用具を購入した時、市が必要と認めた場合に、費用額の9割を支給する。支給限度額あり。受領委任払いの導入により、利用者の負担は軽減。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	福祉用具購入対象給付物品:入浴補助用具腰掛便座など(購入金額10万円まで)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	サービス受給平均件数: 16 件/月							直接事業費	千円	4,943	4,773	4,735	4,400	4,532
事業目標	目標名	一	計算式	年間受給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	618	597	602	560	567
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,572	4,066		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	447	508				
	実績値	16.0	16.0	16.0			正職員人件費	千円	733	444				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.10	0.06	0.08			
							支出コスト	千円	決) 4,305	決見) 4,510				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	介護予防福祉用具購入事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	利用者が自立した日常生活を営む	利用者が自立した日常生活を営む	保険者負担分を給付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.06	0	4,066	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							A	改善案	—					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H26年1月より受領委任払いの導入し、利用者の利便性の向上を図っている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、335千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474053	事務事業名	介護予防住宅改修費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援認定者	意図(どういう状態にしたい): 居宅介護サービス利用者の要支援状態の軽減や・悪化を予防でき、自宅(地域)で自立した日常生活を営むことができる。	事業の内容 (手段)	居宅要介護被保険者が、特定介護福祉用具を購入した時、市が必要と認めた場合に、費用額の9割を支給する。支給限度額あり。受領委任払いの導入により、利用者の負担は軽減。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	住宅改修給付対象施工種類: 手すり、段差解消ほか(施工金額20万円まで)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	サービス受給平均件数: 18 件/月							直接事業費	千円	29,489	38,436	19,176	19,779	20,372
事業目標	目標名	一	計算式	年間受給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	3,686	4,805	2,436	2,512	2,547
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	15,855	18,597		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	1,982	2,325				
	実績値	20.0	16.0	18.0			正職員人件費	千円	733	518				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.10	0.07	0.08			
							支出コスト	千円	決) 16,588	決見) 19,115				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	介護予防住宅改修事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	利用者が自立した日常生活を営む	利用者が自立した日常生活を営む	保険者負担分を給付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.07	0	18,597	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							A	改善案	—					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③												
			正職員	臨時等	直接事業費	委託							
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H26年1月より受領委任払いの導入し、利用者の利便性の向上を図っている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—
----	---	--	------	------------------------------	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。
----	---	-----------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、603千円増額。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474055	事務事業名	介護予防サービス計画給付費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援認定者	意図(どういう状態にしたい): 居宅介護サービス利用者の要支援状態の軽減や・悪化を予防でき、自宅(地域)で自立した日常生活を営むことができる。	事業の内容 (手段)	居宅要支援被保険者が、指定居宅介護予防支援事業者から指定居宅介護予防支援(ケアプランの作成)を受けた時、費用(基準額)の全額を給付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	担当包括支援センターのケアマネが本人や家族と話し合い必要な介護サービスの計画作成						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	サービス受給平均件数: 1,306 件/月							直接事業費	千円	71,786	75,234	68,767	75,273	77,531
事業目標	目標名	-	計算式	年間受給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	8,973	9,404	8,737	9,561	9,691
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	67,089	68,906		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	8,386	8,613		認定者数の増加	認定者数の増加	
	実績値	1,233.0	1,294.0	1,306.0			正職員人件費	千円	366	296				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.05	0.04	0.04			
							支出コスト	千円	決) 67,455	決見) 69,202				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト		委託等の可否				
	①	介護予防サービス計画給付事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	居宅介護支援を受けた時、費用(基準額)の全額を給付	利用者が自立した日常生活を営む	保険者負担分を給付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.04	0	68,906	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業所が、適正な介護予防サービス計画(ケアプラン)を作成するよう、一層の厳格な審査をする必要がある。					A	改善案	—					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	認定者の増加に伴い、利用者数が増加することにより、給付費が増えている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	ケアプランは介護保険サービス提供の要であることから、ケアプランの点検については、専門担当職員により、適正なケアプランであるか否かを厳格に審査することが必要。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、6,506千円増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	474058	事務事業名	要援護者等安否確認実施事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 高齢者を地域で支える体制づくり			【 】 %	
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、きめ細やかな介護相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
	【 】 %					
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 要援護者情報管理システムを導入し、高齢者保健福祉実態調査を基に、高齢者の情報を一括管理。	意図(どういう状態にしたい): 日常から、高齢者等を見守り、ひとりも見逃さない体制づくりを推進する。 (情報一元化 H27目標:要援護者9,000世帯)	事業の内容(手段)	要援護者情報管理システムを導入し、高齢者保健福祉実態調査を基に、高齢者の情報の一括管理を実施。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	平成26年度高齢者保健福祉実態調査の回収数 ①65歳以上ひとり暮らし高齢者・・・6,493人(世帯) ②75歳以上ふたり暮らし高齢者世帯・・・2,014世帯 ③65歳以上寝たきり高齢者・・・77人(世帯)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】	直接事業費	千円	4,327	2,617	2,591		2,023	2,023					
事業目標	目標名	システムデータ化割合	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	855	516	510	398	398
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,996	1,215		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額)	うち一財	千円	789	240			
	実績値		100.0	100.0			正職員人件費	千円	1,099	740				
	達成度(%)		100.0%	100.0%			人工数	人	0.15	0.10	0.10			
							支出コスト	千円	決) 5,095	決見) 2,324				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	要援護者等安否確認実施事業 (経常的事務事業)	65歳以上ひとり暮らし高齢者、75歳以上ふたり暮らし高齢者世帯、65歳以上ねたきり高齢者	実態調査情報を見守り活動のための要援護者台帳を整備し必要機関との情報共有に利用。	民生委員により実態調査を実施。その情報を関係機関で共有。情報共有に向けた各関係機関との調整及び取扱規定などの整備。	65歳以上ひとり暮らし高齢者6,493人・75歳以上ふたり暮らし世帯2,014世帯・65歳以上寝たきり高齢者77人(情報一元管理)	0.13	0.5	854	可	可			
	細事業の課題	関係機関との情報共有のため、より正確な実態を把握する必要がある。調査拒否・関係機関への情報提供への同意拒否を少しでも減らす必要がある。				B	改善案	情報提供先を明確にし、対象者に調査の必要性を理解してもらいながら実施する。						
	②	要援護者システム導入 (ソフト事業)	要援護者(65歳以上ひとり暮らし高齢者、75歳以上ふたり暮らし高齢者世帯、65歳以上ねたきり高齢者)	要援護者支援のための情報管理台帳システム整備(一元データ管理)	●要援護者管理システムの導入・整備。●システム運用に向けた担当課体制整備 ●各関係機関との取扱規定などの整備。	実態調査のデータを地図システムに反映。民生委員373名全員の対象地区別の地図を配布。	0.02	0.08	361	可	可			
細事業の課題	実態調査のデータの取り込み、地図の印刷等に係る事務に対して、今のところ有効性が不透明。				B	改善案	希望の民生委員に限定しての配布や、数年に一度の配布を検討。印刷枚数の削減により、コストを削減する。その一方で、ハザードマップの記載等、内容の充実や、最新の地図データへの更新を検討。また、災害時要援護者登録されている住民のデータを取り込み、活用する事も検討。							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H25年度要援護者管理システムを導入。 H25年度高齢者保健福祉実態調査のデータを要援護者データとして取込、全地区の民生委員に担当エリア地図を配布開始。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	①要援護者等安否確認実施事業 関係機関との情報共有のため、より正確な実態を把握する必要がある。調査拒否・関係機関への情報提供への同意拒否者の減少を図る。 ②要援護者システム導入 実態調査のデータの取り込み、地図の印刷等に係る事務に対して、今のところ有効性が不透明。	事業全体の課題・問題点		高齢者保健福祉実態調査のデータだけではなく、災害時要援護者登録されている住民のデータを取込、より利便性の高い地図にすることが課題である。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	要援護者をマップ化することは災害時の迅速な救助と把握につながる。民生委員をはじめ、地域住民からのニーズも高い。	改善案	対象者全員の正確な情報収集と、より使い勝手の良い地図の作成に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 高齢者実態把握、情報一元管理、マップ化の実施は、緊急時や災害時の迅速な対応と救助につながり、高齢者の安心安全な暮らしを支えるもの。 民生委員との連携強化とともに地域住民への本事業の周知と理解を得ながら進めていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
要援護者マップの配付方法の見直しを行ったことによる減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474059	事務事業名	審査支払手数料	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 保険者(市)	意図(どういう状態にしたい): 専門的業務を県内で統一的に一括処理することで経費等の節減が図れる	事業の内容 (手段)	山口県国民健康保険団体連合会に委託している、介護保険給付についての、審査・支払いに対する手数料		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		審査機関:山口県国保連合会(審査1件当たり92円)					項目		単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】	事業目標	目標名	—	計算式	単価	単位	円	直接事業費	千円	14,247	14,781	14,423	15,525	15,991
		年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財	千円	1,781	1,848	1,832	1,973	1,999
		目標値	—	—	—	—	—	直接事業費	千円	14,247	13,145		対27年度増減理由	対28年度増減理由
		実績値	95.0	92.0	92.0			(決算額) うち一財	千円	1,781	1,643		利用者増	
		達成度(%)	—	—	—			正職員人件費	千円	366	148			
								人工数	人	0.05	0.02	0.02		
						支出コスト	千円	決) 14,613	決見) 13,293					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	審査支払手数料事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	専門的業務を県内で統一的に一括処理することで経費等の節減が図れる	適正かつ効率的な支払の審査等の処理	連合会の決めた手数料に基づき支払い	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02	0	13,145	可	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	②	—					A	改善案	—					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	認定者の増加に伴い、利用者数が増加することにより、審査軒数は増えている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	—	事業全体の課題・問題点	—	—	—

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	山口県国民健康保険団体連合会介護給付費審査支払規則に基づき、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、1,102千円増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474060	事務事業名	高額医療合算介護サービス費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): 所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	事業の内容 (手段)	要介護被保険者の世帯に、医療保険制度に該当する世帯員がいる場合、被保険者からの申請に基づき高額療養費の算定対象世帯単位で医療と介護の自己負担額を合算し、居宅サービスまたは施設サービスに要した費用が新たに設定された自己負担額を超えた時、超える額を償還払いで支給する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	算定期間等:8月～翌年7月末までの介護・医療の負担額を合算						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	サービス受給平均件数: 983 件/月							直接事業費	千円	24,456	18,744	22,306	33,083	34,075
事業目標	目標名	-	計算式	年間支給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	3,057	2,343	2,834	4,202	4,259
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	22,225	23,577		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	2,778	2,947		利用者増		
	実績値	686.0	932.0	983.0			正職員人件費	千円	366	222				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.05	0.03	0.06			
							支出コスト	千円	決) 22,591	決見) 23,799				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	高額医療合算介護サービス事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	連合会の審査結果に基づき対象者に支給	正職員 0.03 臨時等 0	直接事業費 23,577	委託 否	臨時嘱託 可				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	②						A	改善案	—					
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H21年度から支給開始。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、10,777千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474061	事務事業名	高額介護サービス費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	【高齢者福祉の充実】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援・要介護認定者	意図(どういう状態にしたい): 所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	事業の内容 (手段)	居宅サービス・地域密着型サービス・施設サービスの1割負担世帯合算額が、所得区分に応じた負担限度額を超えるとき、超える額を償還払いで支給		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	毎月1回対象者に支給(新規対象者には申請勧奨通知の送付) サービス受給平均件数: 1,641 件/月						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	221,115	253,857	282,362	287,022							
事業目標	目標名	-	計算式	年間支給件数/12月	単位	件	(予算額) うち一財	千円	27,639	31,732	35,874	36,458	36,954
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	209,620	215,006		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	26,203	26,876		認定者数の増加	認定者数の増加
	実績値	1,564.0	1,617.0	1,641.0			正職員人件費	千円	1,099	1,257			
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.15	0.17	0.13		
							支出コスト	千円	決) 210,719	決見) 216,263			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①	高額介護サービス事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	限度額を超えた部分の支給	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							0.17	0	215,006	否	可		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							A	改善案	—				
②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	利用者数の増加に伴い増えている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、4,660千円増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474062	事務事業名	高額医療合算介護予防サービス費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援認定者	意図(どういう状態にしたい): 所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	事業の内容 (手段)	要支援被保険者の世帯に、医療保険制度に該当する世帯員がいる場合、被保険者からの申請の基づき高額療養費の算定対象世帯単位で医療と介護の自己負担額を合算し、居宅サービスに要した費用が新たに設定された自己負担額を超えた時、超える額を償還払いで支給		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	算定期間等:8月～翌年7月末までの介護・医療の負担額を合算 サービス受給平均件数: 22 件/月						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	177	177	191	244	251
事業目標	目標名	-	計算式	年間支給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	22	22	24	30	31
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	131	148		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	16	19				
	実績値	13.0	23.0	22.0			正職員人件費	千円	366	74				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.05	0.01	0.01			
							支出コスト	千円	決) 497	決見) 222				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	高額医療合算介護予防サービス事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	連合会の審査結果に基づき対象者に支給	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.01	0	148	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							A	改善案	-					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H21年度から支給開始。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、53千円増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474063	事務事業名	高額介護予防サービス費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援認定者	意図(どういう状態にしたい): 所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	事業の内容 (手段)	介護予防サービス・地域密着型介護予防サービスの1割負担世帯合算額が、所得区分に応じた負担限度額を超えるとき、超える額を償還払いで支給		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	サービス受給平均 0 千円				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
						直接事業費	千円	1	1	1	1	1
事業目標	目標名	-	計算式	年間支給件数/12月	単位	件	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	0	0		
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	0	0		
	実績値	0.0	0.0	0.0			正職員人件費	千円	366	74		
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.05	0.01	0.01	
							支出コスト	千円	決) 366	決見) 74		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否		
	①	高額介護予防サービス事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	連合会の審査結果に基づき対象者に支給		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
								0.01	0	0	否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
							A	改善案	—			
②												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	近年実績はない。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474064	事務事業名	在宅介護支援センター運営事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)高齢者を地域で支える体制づくり			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 在宅の要介護高齢者及びその介護者等から在宅介護等に関する総合的相談対応により、保健・医療・福祉サービスの総合的支援。		意図(どういう状態にしたい): 要介護者及び介護者の心身の負担軽減		事業の内容 (手段)	在宅の要介護高齢者及びその介護者等から在宅介護等に関する総合的相談に応じ、関係機関と連絡調整し、対象者のニーズに応じた保健・医療・福祉サービスが総合的に受けられるよう支援

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	年間相談・申請件数 ①天王園245件 ②友愛園2229件 ③やまなみ荘172件 ④やすらぎ苑64件 ⑤ニチイ菊川23件 ⑥ゆめ風車9件 総件数:2742件					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	9,381	8,670	8,670		0	0					
事業目標	目標名	年間在介相談・申請件数	計算式	年間在介相談・申請件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	1,853	1,712	1,691	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	7,804	7,821		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500.0	H27年度にて終了	(決算額) うち一財	千円	1,542	1,545		H27年度にて事業終了のため	H27年度にて事業終了のため
	実績値	2,097	2,255	2,742			正職員人件費	千円	952	222			
	達成度(%)	60.0%	64.0%	78.3%			人工数	人	0.13	0.03	0.03		
							支出コスト	千円	決) 8,756	決見) 7,821			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①		在宅介護支援センター運営事業 (経常的事務事業)	地域包括支援センターのランチとして、高齢者からの相談支援機関	高齢者の介護予防及び適切な支援を行う。	相談件数を前年比約10%アップを目指す。	相談件数が、目標値より下回っている。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	■ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業の課題		今後、高齢者がますます増加することが予測されており、市内、全域の高齢者の相談支援体制の再構築が急務であることから、包括の再編とあわせて現行の体制の検証を行い、H27年度をもって事業廃止を決定。		D	改善案	制度移行において、利用者に不利益が生じないよう、引き継ぎ等の対応に努めていく。				
	②												
□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業の課題					改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<ul style="list-style-type: none"> 合併以前、各市町において、11か所の在宅介護支援センターを設置。 平成18年の介護保険法の改正に伴い、地域包括支援センターを創設。センター4箇所、残りの7箇所をランチとして委託。 平成20年、委託事業所の撤退により、現在の体制へ(6か所)。 平成25年度からの包括再編検討委員会における検討を踏まえ、包括の再編に伴い、平成27年度を以て事業廃止を決定。 	前年度までの指摘事項	相談件数が目標に達していない。在宅介護支援センターは地域包括支援センターの運営に重要な位置付けがされており、地域の身近な相談窓口機関として更なる体制強化に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	平成25年度からの包括再編検討委員会における検討を踏まえ、包括の再編に伴い、平成27年度を以て事業廃止を決定。
	細事業の課題・問題点	地域包括支援センターや在宅介護支援センターの設置により市内全域で高齢者の相談窓口は整備されている。しかし、高齢者の増加に伴い、地域包括支援センターの増設など、平成25年度より地域包括支援センター再編検討委員会の中で審議し、地域包括支援センターの再編により、平成27年度を以て事業廃止が決定した。制度移行に伴い利用者に不利益が生じないよう、引き継ぎ等対応に努める。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価

評価	D	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	地域包括支援センターの再編により、平成27年度を以て事業廃止が決定した。	改善案	制度移行に伴い利用者に不利益が生じないよう、引き継ぎ等の対応に努める。
----	---	--	------	--------------------------------------	-----	-------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	D	地域包括支援センターの再編に伴い、利用者に不利益が生じないよう対応に努めるとともに、今後設置を予定しているランチ(サテライト)を含め市内の高齢者の相談支援窓口の在り方を検討していく必要がある。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度で事業終了。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474071	事務事業名	第1号被保険者保険料過誤納還付金	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 第1号被保険者	意図(どういう状態にしたい): 適正な介護保険料賦課	事業の内容 (手段)	第1号被保険者の、転出・死亡等により生じた過誤納保険料(前年度分)を還付		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	過年度分介護保険料返還		事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)					
	【26年度】	歳出還付件数		221 件	直接事業費	千円	1,960	1,960	1,960	1,887	1,960				
事業目標	目標名	—	計算式	歳出還付件数	単位	件	事業費	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0	0	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	1,292	1,424	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—		(決算額) うち一財	千円	0	0				
	実績値	208	185.0	221.0				正職員人件費	千円	1,465	740				
	達成度(%)	—	—	—				人工数	人	0.20	0.10	0.26			
								支出コスト	千円	決) 2,757	決見) 2,164				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否					
	①	第1号被保険者保険料過誤納還付金事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	適正な介護保険財政を運営	適正な介護保険財政を運営	還付金の発生した対象者に返還	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.1	0.2	1,424	否	可				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							A	改善案	—						
②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価									
							改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案							
④														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点			

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	対象者には遅滞なく還付処理をしているため	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
従前の実績から予算額を見積もった。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474073	事務事業名	国庫支出金等返還金	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 介護保険特別会計	意図(どういう状態にしたい): 補助金事務の適正な精算	事業の内容 (手段)	前年度において過受領となっている、国庫等の支出金を返還		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	超過分となった交付金の返還:国と県						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】												
事業目標	目標名	—	計算式	—	単位	—	直接事業費	千円	56,509	65,171	1	1	1
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	1	0
	目標値	—	—	—	—	—	直接事業費	千円	56,509	65,171		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	0	0			
	達成度(%)	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	73	148			
							人工数	人	0.01	0.02	0.02		
						支出コスト	千円	決) 56,582	決見) 65,319				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	① 国庫支出金等返還金事業 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	補助金等の過大交付額の返還	補助金等の過大交付額の返還	補助金等の過大交付額の返還	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							0.02	0	65,171	否	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 返還額を縮小させるために、給付見込の精度を向上させる必要がある。				A	改善案	—				
	②												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
細事業の課題							改善案						
④													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	なし。	前年度までの指摘事項	なし。	指摘事項に対する改善状況	なし。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	国からの返還請求に対し速やかに対処しているため	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474077	事務事業名	介護給付費準備基金積立金	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 第1号被保険者	意図(どういう状態にしたい): 不測な給付への対応	事業の内容 (手段)	介護保険の健全な財政運営のための、積立および取崩し。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
	毎年、給付実績や保険料収入により基金へ積立																
事業目標	目標名	—		計算式	—		単位	—		事業費	直接事業費	千円	124,224	187,936	53,190	1	1
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財	千円	0		0	0	0	0			
	目標値	—	—	—	—	—	直接事業費	千円	124,052		187,936		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	実績値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	0		0						
	達成度(%)	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	73		148						
							人工数	人	0.01		0.02	0.02					
						支出コスト	千円	決) 124,125	決見) 188,084								
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否					
	①	介護給付費準備基金積立金事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	基金積立金により、不測の給付に対する対応	基金積立金により、不測の給付に対する対応	基金積立金により、不測の給付に対する対応	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否				
							0.02	0	187,936								
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 介護保険事業を安定して運営するために基金の最低額を試算・決定し、それを維持していく必要がある。					A	改善案	—								
	②																
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法に基づく介護保険財政の決算剰余金の積立、基金取崩し等の管理を適正に行っているため	改善案	—
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。
----	---	-----------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474079	事務事業名	地域密着型介護サービス給付費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。				25年度市民評価の満足度
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要介護認定者	意図(どういう状態にしたい): 地域密着型サービス利用者の要介護状態の軽減や・悪化を予防でき、地域で自立した日常生活を営むことができる。	事業の内容 (手段)	居宅要介護被保険者が、指定地域密着型サービス事業者から指定地域密着型サービスを受けた時、費用(基準額)の9割を給付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	地域密着型サービス事業種類: 認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	サービス受給平均件数: 464 件							直接事業費	千円	1,326,268	1,249,870	1,353,736	1,851,106	1,906,639
事業目標	目標名	-	計算式	年間受給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	165,784	156,234	171,983	235,127	238,330
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,004,850	1,193,022		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	125,606	149,128		認定者数の増加	認定者数の増加	
	実績値	405.0	417.0	464.0			正職員人件費	千円	73	148				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.01	0.02	0.02			
							支出コスト	千円	決) 1,004,923	決見) 1,193,170				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 地域密着型介護サービス給付事業 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	自宅(地域)で自立した日常生活を営む	地域で自立した日常生活を営む	費用の9割を現物給付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02	0	1,193,022	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業所が、適正な介護報酬請求をするよう、一層の厳格な審査をする必要がある。				A	改善案	—					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	—						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	18年度から地域密着型施設の指定権限が県から市に移譲。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	更なる給付の適正化により、適正な介護報酬であるか否かを厳格に審査し、これまでと同様に不適正な請求分については返還させていくことが必要。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績及び施設整備進捗状況を把握し予算額を見積もった結果、497,370千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474081	事務事業名	特定入所者介護サービス費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要介護認定者	意図(どういう状態にしたい): 施設介護サービス利用者の経費負担について、所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援を図る	事業の内容 (手段)	低所得の要介護被保険者が、施設サービス及び短期入所サービスを受けた時、食費と居住費について所得区分ごとの負担限度額を超える額を給付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	介護保険3施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)で適用						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】	サービス受給平均件数: 1,419 件/月						直接事業費	千円	405,185	394,473	429,608	443,855	457,171
事業目標	目標名	-	計算式	年間受給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	50,648	49,309	54,579	56,378	57,146
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	384,086	406,162		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	48,011	50,770		認定者数の増加	認定者数の増加	
	実績値	1,258.0	1,371.0	1,419.0			正職員人件費	千円	1,099	1,553				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.15	0.21	0.18			
							支出コスト	千円	決) 385,185	決見) 407,715				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	特定入所者介護サービス事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	施設介護サービス利用者の経費負担について、所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援となる	施設介護サービス利用者の経費負担について、所得に応じた軽減を行うことで経済的に支援する	入所者の部屋代と食事代の減額	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.21	0	406,162	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
							A	改善案	—					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	認定者数の増加に伴い利用者は増えている。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、14,247千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474083	事務事業名	特定入所者介護予防サービス費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援認定者	意図(どういう状態にしたい): 施設介護サービス利用者の経費負担について、所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援	事業の内容 (手段)	低所得の居宅要支援被保険者が、介護予防短期入所サービスを受けた時、食費と居住費について所得区分ごとの負担限度額を超える額を給付		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	介護保険3施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)で適用						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	サービス受給平均件数: 7 件/月							直接事業費	千円	789	300	431	522	538
事業目標	目標名	-	計算式	年間受給件数/12月		単位	件	(予算額) うち一財	千円	99	38	55	66	67
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	215	345		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	27	43				
	実績値	6.0	5.0	7.0			正職員人件費	千円	366	74				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.05	0.01	0.02			
							支出コスト	千円	決) 581	決見) 419				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 特定入所者介護サービス事業 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	施設介護サービス利用者の経費負担について、所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援	施設介護サービス利用者の経費負担について、所得に応じた軽減を行うことで経済的な支援	入所者の部屋代と食事代の減額	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.01	0	345	否	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
							A	改善案	—					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
						改善案							
④													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
						改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点			

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険法による法定給付であり、適正に処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 請求に対し遅滞なく支払処理をしているため

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった結果、91千円増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474085	事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)高齢者を地域で支える体制づくり			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、きめ細やかな介護等の相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内高齢者への必要な支援の把握と、適切なサービス機関または制度利用につなげる支援。		意図(どういう状態にしたい): 二次予防事業対象者が機能維持向上でき、住み慣れた地域で自立した生活を継続できる。 (二次予防事業プラン作成件数H27目標:2000件)		事業の内容 (手段)	高齢者が要介護状態となることを予防、または要介護状態になっても状態がそれ以上に悪化しないように維持、改善を図り、アセスメント、介護予防ケアプランの作成、事業評価を実施するための業務を地域包括支援センターに委託

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	地域包括支援センター(4箇所)の年間プラン等作成件数 「二次予防対象者(特定高齢者):二次 要支援者:支援」 ①東部 二次17件、支援343件 ②鼓海園 二次9件、支援252件 ③徳山医師会 二次23件、支援579件 ④西部 二次24件、支援346件 総件数:二次73件、支援1520件 (計:1,593件)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	35,278	34,075	37,355	40,651		40,651						
事業目標	目標名	年間プラン等作成件数	計算式	年間プラン等作成件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	6,420	6,182	7,284	8,009	8,009	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	34,415	34,030		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	(決算額) うち一財	千円	6,797	6,721		北部地域包括支援センター増設のため		
	実績値	1,509	1,529	1,593			正職員人件費	千円		74				
	達成度(%)	75.0%	76.0%	79.7%			人工数	人	0.01	0.01	0.01			
							支出コスト	千円	決) 34,415	決見) 34,030				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 介護予防ケアマネジメント事業 (経常的事務事業)		地域包括支援センターの業務の内、二次予防対象者及び認定者のプラン数	高齢者の身近な相談支援窓口として、適切な介護支援を行う。	プラン作成数、対前年比、同等の目標を設定	要支援者はほぼ横ばい傾向にあり、プランの作成件数は、昨年とほぼ同程度に推移している。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 H28年度からの地域包括支援センターの再編に向け、計画的に実施していく。地域の身近な相談機関としての有効性は高く、機能強化や業務内容等も含め、検討を進める必要がある。			C	改善案	平成28年度からの地域包括支援センター再編に向け、機能強化の内容等、地域包括支援センター運営協議会等の中で、審議、検討する。						
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度改正介護保険法により、全国自治体に義務付の業務として実施。 本事業は市内4箇所の地域包括支援センターに業務委託して実施。	前年度までの指摘事項	地域包括支援センターの主要業務であるが、特に要支援者のケアプランの適正化を図るため、チェック体制を強化されたい。	指摘事項に対する改善状況	要支援者の自立した生活が支援できるよう更なるケアプランの適正化に努める。
	細事業の課題・問題点	市内4箇所の地域包括支援センターは、高齢者人口の増加に伴い、繁忙を極めている。 検討委員会における検証により、H28年度から再編による新体制構築に向け、計画的に実施し、本市の高齢者の相談支援体制を確立する必要がある。	事業全体の課題・問題点		同左	

所管課評価						
評価	C	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	国で定められた事業として、今後も実施する必要があるが、地域包括支援センターの体制は、今後の高齢者人口の増加に備え、見直しを行う必要があるため、その見直し検討の中でコスト等の検証を図る。	改善案	平成28年度からの地域包括支援センター等の再編による新体制の構築に向け、計画的に実施する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 所管課評価のとおり、地域包括支援センターについては、平成28年度の新体制構築に向けて、計画的な取り組みを進めていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
地域包括支援センターの北部地区への増設及び機能強化を図るため増額。

備考

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度改正介護保険法により、全国自治体に義務付の業務として実施。 本事業は市内4箇所の地域包括支援センターに業務委託して実施。	前年度までの指摘事項	相談件数は横ばい傾向で目標に達していない。地域に密着した活動ができるよう、効果的に進められるとともに、委託料については常に精査し、経費削減に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	地域の身近な総合相談窓口として、市民へのセンターの周知と関係機関との連携強化を図るとともに、センター運営経費についても精査しつつ効率的な運営に努めたい。
	細事業の課題・問題点	市内4箇所の地域包括支援センターは、高齢者人口の増加に伴い、繁忙を極めている。 検討委員会における検証により、H28年度からの新体制構築に向けた取り組みを計画的に進め、本市の高齢者の相談支援体制を確立する必要がある。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	C	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	国で定められた事業として、今後も実施する必要があるが、今後の高齢者人口の増加に備え、H28年度からの地域包括支援センター等の再編による新体制の構築に向けた取り組みを計画的に行う。見直し検討の中でコスト等の検証を図る。	改善案	H28年度からの地域包括支援センター等の再編による新体制の構築に向けた取り組みを計画的に行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 所管課評価のとおり、地域包括支援センターについては、平成28年度の新体制構築に向けて、計画的な取り組みを進めていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
地域包括支援センターの北部地区への増設及び機能強化を図るため増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474087	事務事業名	権利擁護事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)高齢者を地域で支える体制づくり			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための、きめ細やかな介護等の相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	【高齢者福祉の充実】 41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ひとり暮らし認知症高齢者や知的障害者など、自己管理能力が低下している人に対し、金銭管理の援助支援。	意図(どういう状態にしたい): 自ら権利主張や権利行使することができない高齢者の権利侵害を予防し、高齢者が権利行使を行うことができる。 (年間権利擁護相談件数H27目標:500件)	事業の内容 (手段)	ひとり暮らし認知症高齢者や知的障害者など、自己管理能力が低下している人に対し、金銭管理の援助などを行うことにより、安心した生活を送ることができるよう地域包括支援センターに業務を委託する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	地域包括支援センター(4箇所)の年間権利擁護支援件数*虐待含む 「権利擁護に関する相談:権利擁護、高齢者虐待に関する相談:虐待」 支援件数:①東部 権利擁護84件、虐待128件 ②鼓海園 権利擁護36件、虐待9件 ③徳山医師会 権利擁護52件 虐待113件 ④西部 権利擁護9件、虐待45件 総件数:権利擁護181件、虐待295件						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	9,000	9,000	9,000	19,481		19,481						
事業目標	目標名	年間権利擁護支援件数*虐待含む	計算式	年間権利擁護支援件数*虐待含む	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	1,777	1,777	1,755	3,838	3,838
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	9,000	9,000	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	200	400	400	400		(決算額)	うち一財	千円	1,777	1,777	北部地域包括支援センター増設のため		
	実績値	401	354	476			正職員人件費	千円	147	961				
	達成度(%)	200.5%	88.5%	119.0%			人工数	人	0.02	0.13	0.13			
							支出コスト	千円	決) 9,147	決見) 9,000				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	権利擁護事業 (経常的事務事業)	地域包括支援センターの業務の内、高齢者への権利擁護支援業務	高齢者の身近な相談支援窓口として、適切な支援を行う。	権利擁護分の支援件数、対前年比(目標値)100件アップ	権利擁護分の支援件数、対25年比(目標値)2倍アップするも、H26年度100%を上回り達成。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	H28年度からの地域包括支援センターの再編に向け、計画的に実施していく。地域の身近な相談機関としての有効性は高く、機能強化や業務内容等も含め、検討を進める必要がある。						C	改善案	平成28年度からの地域包括支援センター再編に向け、機能強化の内容等、地域包括支援センター運営協議会等の中で、審議、検討する。					
②														
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度改正介護保険法により、全国自治体に義務付の業務として実施。 本事業は市内4箇所の地域包括支援センターに業務委託して実施。	前年度までの指摘事項	相談受付件数が目標の半数である。制度を必要とする人が相談できるよう、更なる周知を図るとともに、委託料については常に精査し、経費削減に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	虐待の相談を含めると、相談の件数は増加している。今後も相談窓口として周知していきたい。
	細事業の課題・問題点	市内4箇所の地域包括支援センターは、高齢者人口の増加に伴い、繁忙を極めている。 検討委員会における検証により、H28年度からの新体制構築に向けた取り組みを計画的に進め、本市の高齢者の相談支援体制を確立する必要がある。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	C	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	国で定められた事業として、今後も実施する必要があるが、今後の高齢者人口の増加に備え、H28年度からの地域包括支援センター等の再編による新体制の構築に向けた取り組みを計画的に行う。見直し検討の中でコスト等の検証を図る。	改善案	H28年度からの地域包括支援センター等の再編による新体制の構築に向けた取り組みを計画的に行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 所管課評価のとおり、地域包括支援センターについては、平成28年度の新体制構築に向けて、計画的な取り組みを進めていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
地域包括支援センターの北部地区への増設及び機能強化を図るため増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474088	事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)高齢者を地域で支える体制づくり			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための、きめ細やかな介護等の相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	【高齢者福祉の充実】 41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内高齢者への必要な支援の把握と、適切なサービス機関または制度利用につなげる支援。	意図(どういう状態にしたい): 多様な課題を抱える高齢者が、途切れることなく一貫して地域で暮らし続けることができるよう支援することができる。 (ケアマネジメント支援件数H27目標:600件)	事業の内容 (手段)	高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、主治医、介護支援専門員などの多職種協働と、地域の関係機関との連携により、包括的・継続的なケアマネジメントを実現するための後方支援を行うための業務を地域包括支援センターに委託		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	地域包括支援センター(4箇所)の年間ケアマネ等支援件数 支援件数:①東部163件 ②鼓海園96件 ③徳山医師会285件 ④西部190件 総件数:734件						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	31,501	31,502	31,163	23,055	23,055
事業目標	目標名	年間ケアマネジメント支援件数		計算式	年間ケアマネジメント支援件数		事業費	(予算額) うち一財	千円	6,221	6,222	6,077	4,543	4,543
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	31,821	31,089		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	450	500	550	600	600		(決算額) うち一財	千円	6,285	6,140		地域包括支援センターの機能強化等に伴う業務割合の見直しによる減額。	
	実績値	486	655	734				正職員人件費	千円	147	961			
	達成度(%)	108.0%	131.0%	133.5%				人工数	人	0.02	0.13	0.13		
								支出コスト	千円	決) 31,968	決見) 31,089			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 (経常的事務事業)	地域包括支援センターの業務の内、高齢者への包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	高齢者の身近な相談支援窓口として、適切な支援を行う。	年間支援件数、対前年比(目標値)50件アップ	支援件数の目標を大幅に上回っている。H28年度からの包括再編に向けて、目標値を再設定する必要がある。	正職員	0.13	直接事業費	31,089	委託	可	臨時嘱託	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 H28年度からの地域包括支援センターの再編に向け、計画的に実施していく。地域の身近な相談機関としての有効性は高く、機能強化や業務内容等も含め、検討を進める必要がある。				C	改善案	平成28年度からの地域包括支援センター再編に向け、機能強化の内容等、地域包括支援センター運営協議会等の中で、審議、検討する。						
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他													

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度改正介護保険法により、全国自治体に義務付の業務として実施。 本事業は市内4箇所の地域包括支援センターに業務委託して実施。	前年度までの指摘事項	高齢者が地域で生活することを支援するには、関係機関との連携や介護支援専門員の資質向上が不可欠であり、本事業により、常に情報収集を行い内容の改善を図りながら効果的に実施されたい。	指摘事項に対する改善状況	増加する高齢者の諸問題に対応できるよう、さらに多職種協働による包括ケアシステム構築に努める。
	細事業の課題・問題点	市内4箇所の地域包括支援センターは、高齢者人口の増加に伴い、繁忙を極めている。 検討委員会における検証により、H28年度からの新体制構築に向けた取り組みを計画的に進め、本市の高齢者の相談支援体制を確立する必要がある。	事業全体の課題・問題点		同左	

所管課評価						
評価	C	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	国で定められた事業として、今後も実施する必要があるが、今後の高齢者人口の増加に備え、H28年度からの地域包括支援センター等の再編による新体制の構築に向けた取り組みを計画的に行う。見直し検討の中でコスト等の検証を図る。	改善案	H28年度からの地域包括支援センター等の再編による新体制の構築に向けた取り組みを計画的に行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 所管課評価のとおり、地域包括支援センターについては、平成28年度の新体制構築に向けて、計画的な取り組みを進めていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
地域包括支援センターの機能強化等に伴う業務割合の見直しによる減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	474089	事務事業名	介護給付等費用適正化事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護支援専門員(ケアマネジャー)が適切な居宅サービス計画を作成できるように、情報の提供や研修の実施、事業者間の連携の促進を図ります。介護保険制度のより一層の理解を深めるための普及啓発活動を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 介護給付費や介護保険料の増大の抑制につながることも、市民の介護保険制度への信頼感が高まる。(医療情報突合・縦覧点検数H27目標:2,000件/月)	事業の内容(手段)	利用者に対する適正な介護サービスの確保と、不適切な給付の削減を図るため、認定調査状況の点検、ケアプランの点検、住宅改修等の点検、医療情報突合・縦覧点検、介護給付費の通知の5事業を実施。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	①認定調査状況チェック:全件実施 ②ケアプラン点検:抽出実施 ③住宅改修等の点検:抽出実施 ④医療情報突合・縦覧点検:毎月実施 ⑤介護給付費の通知:年2回実施					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	5,661	5,980	5,543		7,661	7,661						
事業目標	目標名	介護給付費適正化事業の実施状況	計算式	上記5事業のうち実施事業数	単位	事業	(予算額)	うち一財	千円	1,116	1,179	1,101	1,508	1,508
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	5,488	5,464		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	(決算額)	うち一財	千円	1,082	1,077			
	実績値	5.0	5.0	5.0			正職員人件費	千円	2,930	2,958		認定調査状況 チェック嘱託職員 1名増	-	
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.40	0.40	0.40			
							支出コスト	千円	決) 8,418	決見) 8,422				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		介護給付等費用適正化事業 (経常的事務事業)	介護保険事業者	利用者に対する適正な介護サービスの確保と、不適切な給付の削減を図る。	上記5事業を確実に遂行する。医療情報突合・縦覧点検を2,000件/月実施する。	5事業を実施。医療情報突合・縦覧点検を2,000件/月実施した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ケアプラン点検については、専門性が必要であり、担当職員の育成が課題である。				B	改善案	専門知識をもった担当職員の育成により、医療情報との突合・縦覧点検やケアプランの点検の充実を行い、より一層の適正化を図る。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	介護給付費適正化支援システムを導入し、毎月の介護報酬請求の明細情報に対応した警告情報が作成され、事業所に照会を行う。	前年度までの指摘事項	給付の適正化の推進は、介護保険事業運営に重要であり、精度を高める工夫をしながら進める必要がある。	指摘事項に対する改善状況	医療情報突合・縦覧点検を毎月定期的に実施しており、過誤金額は前年度は下回るものの、一定の成果を上げており、給付の適正化に寄与している。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ケアプラン点検等については、専門的知識が必要であり、担当職員の育成が必要である。 更なる給付の適正化により、適正な介護報酬であるか否かを厳格に審査し、これまでと同様に不適正な請求分については返還させていくことが必要。 		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	より効果的な介護給付費適正化が図られるよう、専門性、効率性の高い取り組みが必要である。	改善案	専門知識をもった担当職員の育成により、医療情報との突合・縦覧点検やケアプランの点検の充実を行い、より一層の適正化を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 介護給付適正化の推進は、介護保険事業運営に重要であり、さらに専門性を高める工夫をしながら進める必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付適正化事業の一つである認定調査状況チェックのための嘱託職員を1名増することで、更なる給付の適正化を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	474090	事務事業名	もやいネットセンター推進事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 高齢者を地域で支える体制づくり			【 】 %	
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、きめ細やかな介護相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
	【 】 %					
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 高齢者の困りごとなど24時間相談対応の体制づくり。 地域の見守り拠点・ネットワークの体制強化、充実。	意図(どういう状態にしたい): もやいネットセンターを核として、高齢者に関する総合相談体制を整備、地域見守りネットワークを構築することにより、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進。 (H27目標:もやいネット地区ステーション設置14箇所)	事業の内容(手段)	●もやいネットセンターの体制整備 高齢者の困りごとなど相談支援体制づくり ●「もやいネット地区ステーション」設置事業(補助) 地域の共助による見守り拠点・ネットワークの体制強化、充実		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	■もやいネットセンター相談件数2,497件/年 ■もやいネットセンター夜間相談件数:163件/年(うち駆けつけ件数:7件) ■もやいネット地区ステーション設置8箇所(H27目標14件、3年間で31カ所)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	17,726	16,551	19,595	18,713		18,713						
事業目標	目標名	地区ステーション設置数	計算式	地区ステーション設置数	単位	地区	(予算額)	うち一財	千円	2,976	2,779	3,805	3,641	3,641
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	11,476	12,796		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値		10	10	14		(決算額)	うち一財	千円	1,927	2,527			
	実績値		9	8			正職員人件費	千円	11,793	9,318				
	達成度(%)		90.0%	80.0%			人工数	人	1.61	1.26	1.26			
							支出コスト	千円	決) 23,269	決見) 22,114				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	もやいネットセンター推進事業 (経常的事務事業)	高齢者とその家族ほか	地域において共助による見守り拠点となる、地域見守りネットワークの体制強化、充実を図るための補	24時間365日高齢者の総合相談窓口「もやいネットセンター」を設置し、民生委員や社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携し、高齢者の相談、支援を実施。	高齢者総合相談窓口 夜間委託契約締結:周南マリコム(株)	0.11	0.6	4,084	可	可			
	■ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 ・虐待事案等について適切に対応できるよう担当職員の専門性の向上とともに、あらゆる相談内容に応じ、迅速かつ適切な対応に繋げる体制整備。 ・将来的には、高齢者・障害者・子ども・生活困窮者等の相談をノンストップで対応する福祉総合相談窓口の設置を検討						細事業評価							
②	夜間対応業務 (経常的事務事業)	高齢者や家族、その他地域住民等	もやいネットセンターの夜間休日対応、24時間365日体制、市民の利便性と安心安全の確保	夜間、休日の高齢者の総合相談窓口、相談対応	夜間相談件数:163件/年(うち駆けつけ件数:7件)	0.7		2,002	可	可				
■ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 ■夜間休日の初期対応は委託業者が行うため、相談や駆けつけに関するマニュアルを作成し、迅速かつ的確な対応ができる体制の整備。						細事業評価								
						B	改善案	委託業者と月1回の連絡会議を行い、対応実績を夜間対応マニュアル作成の改訂に活かすとともに迅速かつ的確な対応につなげている。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	見守り支援事業所との協定 (経常的事務事業)	もやいネット支援事業者	地域と関わりのある事業者がさりげない見守り活動により、地域の見守りの輪を拡大。	見守り支援事業者と連携し、地域における見守り活動の強化を図る。	事業者との調整協議 17事業者と協定調印 事業者からの入電28件 孤立死孤独死リスクを回避	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時			
③						0.18		0	可	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市内全域に見守りの網の目を広げるためもやいネット支援事業者の更なる拡大に取り組む。					細事業評価		B	改善案	さりげない見守り活動により28協定事業者から28件の通報相談があり、孤立死孤独死リスクの回避ケースもあることから一定の事業成果があがる。事業を周知することにより、更なる支援事業者の拡大を図る。			
④	地域見守りネットワーク拠点整備 (経常的事務事業)	高齢者の孤立防止	地域見守りネットワークの充実を図り、高齢者の孤立化対策を行う。	各地区社協に地区ステーションを設置し、地域福祉コーディネーターの配置。	地区ステーションの8か所設置。 地域福祉コーディネーターの配置。 対象者訪問回数 6,125件/年 孤独死未然防止ケース 5件/年	0.27		6,710	可	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ■民生委員等の地域の見守り関係者との連携 ■地域の特性と実情に合った活動の展開 ■住民への地域見守り活動へ参加意識の醸成 ■市内全地区への事業の波及、地区ステーション設置					細事業評価		B	改善案	先行設置地区では安否確認、生活課題の発見と関係機関に円滑につながり見守り活動の一定の成果が実証済である。			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
		H24.4 改正介護保険法により見守り等高齢者支援が重要な取組と位置付「地域包括ケアシステム」構築が、国及び地方公共団体の責務として規定 H25.4 もやいネットセンター設置 H25.8～ もやいネット地区ステーション設置、地域福祉コーディネーター		<ul style="list-style-type: none"> ①虐待事案等に適切に対応できるよう担当職員の専門性の向上とともに、あらゆる相談内容に応じ、迅速かつ適切な対応に繋げる体制整備。 ②夜間休日対応での相談や駆けつけに関するマニュアル作成により、迅速かつ確な対応体制整備。 ③更なる支援事業者の拡大と共に、事業者への見守り活動の周知、事案対応のフィードバックを行う。 ④もやいネット地区ステーションの市内全地区への設置とともに、地域福祉コーディネーター配置にあたり、継続的な活動展開が図れるよう中期事業計画の策定。

所管課評価

評価	理由	改善案
B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	高齢者が安心して暮らせる地域づくりの基盤となる重要な事業であることから、地域見守りネットワークづくりの強化や相談体制整備を推進する。 将来的な高齢者・障害者・子ども・生活困窮者等の相談をノンストップで対応する福祉総合相談課の設置の検討とともに、更なる全市的な地域見守りネットワークの基盤づくりに努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり、福祉総合相談課の設置を検討するとともに、更なる全市的な地域見守りネットワークの基盤づくりに努める。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500102
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(2)地域福祉に関する相談・支援体制づくりの推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
もやいネット地区ステーションについては、平成27年度末までに市内全地区に設置予定。引き続き、地区ステーションの運営や地域福祉コーディネーターの育成等に努め、地域見守りネットワークを強化していく。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474091	事務事業名	認知症高齢者見守り事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、介護サービスの充実をはかります。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 認知症高齢者及びその家族介護者 地域住民が認知症に対し正しい理解をする	意図(どういう状態にしたい): ・介護者が安心して外出でき心身の負担軽減ができる。 ・認知症への理解が増え、認知症高齢者及び介護者が安心して生活できる。	事業の内容 (手段)	●在宅の認知症高齢者を抱える介護者に対し、介護者が通院等で不在の間、支援員を派遣し、見守りや話し相手等の支援を行うことにより、介護者の心身の負担を軽減 ●認知症についての理解を深め、認知症高齢者本人や家族の地域での「応援者」となる認知症サポーターを養成		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】					項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	認知症高齢者家族やすらぎ支援利用者数	2名	認知症サポーター養成数	855名	計								7479名	
事業目標	目標名	認知症サポーター養成	計算式	認知症サポーター養成者数	単位	人	事業費	直接事業費	千円	509	428	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	101	85	0	0	0
	目標値	900	900	900.0	900.0	900.0		直接事業費	千円	184	216			
	実績値	917	766	855.0				(決算額) うち一財	千円	37	42			
	達成度(%)	101.9%	85.1%	95.0%				正職員人件費	千円	733	1,109			
								人工数	人	0.10	0.15			
						支出コスト	千円	決) 184	決見) 216					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	認知症サポーター養成講座	一般市民	キャラバンメイトが、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症サポーターを養成する	認知症の理解を深め、認知症高齢者及び介護者への応援者を増やす	サポーター養成講座28回。サポーター養成数855人。計7429人	正職員	0.15	臨時等	0	直接事業費	160	委託	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 認知症高齢者の増加とともに認知症患者も増加。地域での理解や対応を支援する体制づくりは重要講座の要望が多くなっており、日頃の他の業務を圧迫しつつある。キャラバンメイトの活用が必要			B	改善案	地域でのサポーター養成の要望に応えるためにも。キャラバンメイトの養成や活躍を促す働きかけが重要						
	②	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業委託	認知症高齢者介護家族	家族介護者の心身の負担軽減	家族介護者の外出を支援	利用者2名	正職員	0	臨時等	0	直接事業費	56	委託	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 介護家族を支えるための支援は、ますます重要と考えるが、利用には至っていない。認知症の家族にとって、自宅での話し相手や見守りは使いつらいのかもしれない。			B	改善案	認知症支援に関わる関係機関や事業所等への周知PRを図る。利用しやすい内容を検討						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度から介護保険法の改正による地域支援事業の任意事業として実施	前年度までの指摘事項	家族介護者の負担軽減を図る事業であるが、利用者が減少しているため、まずはその増加に努められたい。増加しない場合は抜本的な見直しが必要である。	指摘事項に対する改善状況	事業開始当初より利用者の大きな増減はない。介護者の負担軽減や外出支援のためには有用なサービスである。周知を図り、利用希望者があれば少人数でも継続したい。
	細事業の課題・問題点	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業は、認知症高齢者の増加に伴い、ニーズは高まっていると思われるが利用に繋がっていない。サポーター養成講座開催の要望が増えており、他の事業とのバランスが崩れつつある。地域支援推進員としての、事業実施や効果を出す必要がある。	事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業は、認知症高齢者の増加に伴い、ニーズは高まっていると思われるが利用に繋がっていない。 ボランティアのキャラバンメイト実際に活動可能なメイトを増やす必要 認知症地域支援推進員としての活動 		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	認知症高齢者、介護家族を支援するための有効な事業である。	改善案	事業の周知をますます図り、29年度までに内容を見直す。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 事業は今後ますます重要であるが、住民が使いやすい事業となっているか見直しをしていく必要がある。最近の情勢からサポーター養成はますます増えると考えられるが、効果的で効率的な方法を包括支援センターと検討するなど地域づくりを視野に検討する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474092	事務事業名	家族介護継続支援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 介護している家族	意図(どういう状態にしたい): 介護している家族に対する介護負担を軽減	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民税非課税世帯であり、在宅の要介護4・5相当の高齢者で過去1年介護サービスを受けなかった方を介護している家族に対し慰労金(10万円)を支給。 ●紙おむつが必要な在宅の高齢者の介護を支援する家族に対し、紙おむつを支給。 		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	慰労金実績なし		紙おむつ支給人数		94人		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	3,800	3,680	3,236	2,695								2,695	
事業目標	目標名	—	計算式	支給人数		単位	人	事業費	(予算額) うち一財	千円	750	726	631	531	531
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費		千円	2,004	2,318	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財		千円	396	458				
	実績値	208	82	94.0			正職員人件費		千円	366	518				
	達成度(%)	—	—	—			人工数		人	0.05	0.07	0.06			
							支出コスト		千円	決) 2,370	決見) 2,836				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	紙おむつ支給事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	介護している家族に対する介護負担を軽減	介護している家族に対する介護負担を軽減	・家庭で介護しているか家族への紙おむつ支給 ・介護サービスを使わず家庭での介護をしている家族への支給	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
		A	改善案	-											
②	家族介護慰労金支援事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	介護している家族に対する介護を慰労	介護している家族に対する介護負担を軽減	・家庭で介護しているか家族に現金を支給	0	0	0	否	可					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他					細事業評価									
	B	改善案	近隣市町の状況を踏まえ検討												

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	・紙おむつ支給事業は、H25年度から施設入所者を除外するよう支給基準の見直しを実施。	前年度までの指摘事項	今後も事業内容の見直しを図りながら適正な事業運営に努めていく。	指摘事項に対する改善状況	近隣市町の状況を踏まえ検討する。
	細事業の課題・問題点	・家族介護慰労金は、制度内容について見直しを検討する必要がある。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	家族介護慰労金は、制度内容について見直しを検討する必要がある。	改善案	—
----	---	--	------	---------------------------------	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	今後も事業内容の見直しを図りながら適正な事業運営に努めていく。
----	---	---------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
サービス利用者動向、実績状況を把握し予算額を見積もった結果、541千円減額。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474093	事務事業名	成年後見制度利用支援事業費(高齢者支援課)	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 高齢者を地域で支える体制づくり			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、きめ細やかな介護相談体制の整備を進めます。				25年度市民評価の満足度
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 親族がいない、又は親族の協力が得られない判断能力の不十分な認知症高齢者等への成年後見制度の利用を支援。		意図(どういう状態にしたい): 認知症高齢者等、判断能力の低下した人が安心して生活できる。 (H27目標:市長申立支援数20件)		事業の内容 (手段)	成年後見制度のうち、法定後見制度である市長による後見等開始審判請求が妥当であるかを判断し、妥当であるものについて家庭裁判所に審判請求を行うとともに必要な費用を負担する。また、決定された後見人等が行った援助活動等に対する報酬支払いができない者の後見人等に助成を行う。 ●親族がいない、又は親族の協力が得られない判断能力の不十分な認知症高齢者等へ市長申立により、成年後見制度の利用を支援(高齢化に向け目標を決めて推進する事業) ●成年後見制度の市民への周知

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】		市長申立件数:5件				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
							直接事業費	千円	1,882	4,589	4,009	3,466	3,466	
							(予算額) うち一財	千円	370	905	788	682	682	
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目		単位		%	直接事業費	千円	294	35		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	(決算額) うち一財	千円	58	7			
	目標値	5.0	5.0	25.0	20.0		20.0	正職員人件費	千円	1,099	740			
	実績値	5.0	6.0	5.0			人工数	人	0.15	0.10	0.10			
達成度(%)	100.0%	120.0%	20.0%			支出コスト	千円	決) 1,393	決見) 35					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	成年後見制度利用支援事業	市内に住所があり、法定後見制度の利用を必要とする身寄り等のない65歳以上の高齢者	判断能力の不十分な認知症高齢者等について、老人福祉法等の規定に基づき、福祉の増進を図る。	市長申立てを行う	市長申立件数:5件	正職員 0.10	臨時等 35	委託	臨時嘱託				
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他				細事業評価							
	②						B	改善案	高齢化に伴い申立件数も増加が想定され、今後も市民への制度周知を図りながら推進する。					
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成17年4月に本事業要綱を制定し、事業開始。 平成18年4月介護保険法改正により、地域支援事業として実施。	前年度までの指摘事項	制度を必要とする人が確実に利用できるよう、体制の充実及び制度の周知・普及啓発に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	高齢化に伴い申立件数も増加が想定され、今後も市民への制度の周知啓発を図りながら推進する。
	細事業の課題・問題点	高齢化に伴い申立件数も増加が想定され、市民への制度の周知と啓発が必要である。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	対象者を把握し、必要な対象者への審判請求による後見人の選任等により、安心して生活できる状態の実現により成果は達成されている。	改善案	今後も対象者の把握とともに、市民への制度の周知啓発を図りながら推進する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり。 今後も継続して、制度の利用体制の充実と普及啓発を積極的に進めていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
目標を定めて推進する事業ではないが、必要な人が確実に利用できるよう、制度の周知・普及に努めていく。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474094	事務事業名	福祉用具・住宅改修支援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援・要介護認定者	意図(どういう状態にしたい): 必要な申請書類の作成を支援することでサービスの利用が容易になる。	事業の内容 (手段)	契約介護支援専門員がない要介護・要支援被保険者の住宅改修等申請に必要な理由書作成に対し支給。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	給付利用実績 42 件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	109	87	119	119	119
事業目標	目標名	—	計算式	給付利用件数		単位	件	(予算額) うち一財	千円	21	17	23	23	23
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	109	93		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	21	18				
	実績値	41	52	42.0			正職員人件費	千円	440	518				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.06	0.07	0.04			
							支出コスト	千円	決) 549	決見) 611				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	福祉用具・住宅改修支援事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	必要な申請書類の作成を支援	必要な申請書類の作成を支援することでサービスの利用が容易	契約介護支援専門員がない要介護・要支援被保険者の住宅改修等申請に必要な理由書作成に対し支給	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.07	0	93	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							A	改善案	—					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	—	事業全体の課題・問題点	—	—	—

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	法定給付であるため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費の支払いのため、サービス利用者動向、給付実績状況を把握し予算額を見積もった。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474095	事務事業名	地域自立生活支援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	【高齢者福祉の充実】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 要支援・要介護被保険者	意図(どういう状態にしたい): 介護相談員の相談活動により、施設・入所者双方のより良い関係構築と介護サービスの質的な向上を図る	事業の内容 (手段)	介護相談員:19人(1に当たり3~4施設を担当)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	介護相談員:19人(1に当たり3~4施設を担当)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	訪問施設数: 35 箇所							直接事業費	千円	2,696	3,027	2,751	2,567	2,567
事業目標	目標名	—	計算式	訪問施設数(実績)		単位	施設数	(予算額) うち一財	千円	674	597	536	506	506
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,838	1,928		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	363	381				
	実績値	33	34	35.0			正職員人件費	千円	1,099	518				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.15	0.07	0.02			
							支出コスト	千円	決) 2,937	決見) 2,446				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 地域自立生活支援事業 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	事務事業を自己点検し、事業の最適化を図るツールとして活用し、次年度に向けた改善につなげる。	介護保険施設等の利用者の不満や不安を解消を図るとともに、施設サービスの質の向上を図る	市内対象施設に対し、介護相談員を派遣することで利用者のサービス利用に対する不満や不安を解消。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.07	0	1,928	否	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ・スキルアップのための研修の充実。 ・訪問対象施設増加に伴い介護相談員人材確保が必要。				A	改善案						
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	訪問施設数の増加に伴い介護相談員の増加及び高齢化。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 介護相談員のスキルアップの問題。 訪問対象施設増加に伴い介護相談員人材確保が必要。 	事業全体の課題・問題点		同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	.利用者の不安・不満解消に役立っているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 施設の質の向上・利用者の処遇環境改善に必要である。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
訪問施設数や訪問回数を精査し予算額を見積もった結果、184千円減額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474096	事務事業名	高齢者虐待防止ネットワーク運営事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 高齢者を地域で支える体制づくり			【 高齢者福祉の充実 】	37.10%
	推進施策の展開	要介護状態になっても、できる限り住み慣れた家庭や地域で暮らせるよう、高齢者の生活を地域で支える取り組みを進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【 高齢者福祉の充実 】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 高齢者虐待防止のためのネットワークを構築	意図(どういう状態にしたい): 高齢者虐待の防止、及び、早期発見・早期対応による被害の拡大を防ぐ。 (H27目標:事例検討・研修会10回開催)	事業の内容 (手段)	高齢者虐待の防止、早期発見・早期対応を図り、高齢者の安心した生活を確保するために、もやいネットセンター、地域包括支援センターを中心に関係機関が連携し、高齢者虐待防止のためのネットワークを構築		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	相談活動 事例検討会:7回(参加者63人) 研修会の開催:3回(参加者65人) 虐待相談件数 48件、虐待認定件数 8件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】								直接事業費	千円	209	209	209	133
事業目標	目標名	事例検討会・研修会	計算式	事例検討会・研修会開催回数	単位	回		(予算額) うち一財	千円	41	41	41	26	26
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	30	30		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	12	12	12.0	10.0	10.0		(決算額) うち一財	千円	6	6			
	実績値	6	12	10.0				正職員人件費	千円	366	148			
	達成度(%)	50.0%	100.0%	83.3%				人工数	人	0.05	0.02	0.02		
								支出コスト	千円	決) 396	決見) 30			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 高齢者虐待防止ネットワーク運営事業		各種関係団体	高齢者虐待の防止、早期発見・早期対応を図り、高齢者の安心した生活を確保する	事例検討会、研修会の開催	事例検討会:7回(参加者63人) 研修会の開催:3回(参加者65人)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 高齢者の虐待について、件数・困難事例等増加傾向にあり、会議、研修会の開催により早期発見・早期対応にむけ、ネットワークを有効的に機能するための取り組みや周知が継続的に必要である。				B	改善案	事例検討会、研修会を継続的に積極的に実施する。回数よりも内容に重点を置くこととする。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度からは、介護保険法に規定の地域支援事業として実施。	前年度までの指摘事項	高齢者虐待の早期発見・早期対応のために、研修会等への積極的な参加も含め更なる推進に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	会議・研修会の内容を審議し、継続的かつ積極的に実施・参加する。
	細事業の課題・問題点	高齢者の虐待について、件数・困難事例等増加傾向にあり、会議、研修会の開催により、早期発見・早期対応にむけ、ネットワークを有効的に機能するための取り組みや周知が継続的に必要である。	事業全体の課題・問題点	研修会等の開催により、早期発見・早期対応にむけ、ネットワークを有効的に機能させる取り組みや周知が継続的に必要である。 虐待対応は、高齢者虐待だけでなく、障害者虐待、児童虐待もあり、福祉部全体での取り組みとともに。各々のネットワークを活用しながら、本事業を推進することが重要となる。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	高齢者虐待の早期発見・早期対応を行うため、相談体制やネットワーク会議、連絡会議等により関係機関との連携や各ネットワーク体制の充実に必要がある。	改善案	福祉部全体での取り組みと関係機関との連携のもと、研修会等を継続的かつ積極的に実施、参加する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり。 今後も継続して関係機関との連携を図り、ネットワークの強化を図っていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
事例検討・研修会の開催回数よりも、内容を重視し、関係機関と連携を図りながら、ネットワークの強化を図っていく。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	474099	事務事業名	高齢者安心・安全推進事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 05介護保険特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)高齢者を地域で支える体制づくり			【 高齢者福祉の充実 】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための、きめ細やかな介護等の相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	【 高齢者福祉の充実 】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 高齢者の見守り・生活支援・介護予防などのサービスを包括的に提供・支援。	意図(どういう状態にしたい): 高齢者が住み慣れた地域において安心・安全に暮らせる。孤立死防止。	事業の内容(手段)	・高齢者の見守り、生活支援、介護予防などのサービスを行い、包括的に支援を実施 ・特に高齢化が著しい中山間地域の高齢者を対象に中山間地域の特色を活かした介護予防活動の実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	①見守り配食事業:食数33,036食 利用者141人 ※1,896人/年延べ ②友愛訪問活動促進事業:福祉員数1,425人 利用者5,994人※ひとり暮らし高齢者が対象としており、実績値には含まない。 ③ひとり生活応援サービス事業:件数1,046件 利用者16人 ④老人福祉電話貸与者通話料助成事業:年度末貸与人数59人 ⑤介護予防中山間地域拠点事業:利用者523人 ※年延べ利用者合計: 6,637人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	69,362	47,049	41,511	36,891		36,891						
事業目標	目標名	年間配食数(見守り配食)	計算式	年間配食数(見守り配食)	単位	食	(予算額) うち一財	千円	13,699	9,292	8,095	7,269	7,269	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	47,896	30,268	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	135,384	122,035	72,216	63,220	63,220	(決算額) うち一財	千円	9,459	5,860				
	実績値	124,888	75,213	33,036			正職員人件費	千円	7,472	4,215				
	達成度(%)	92.2%	61.6%	45.7%			人工数	人	1.02	0.57			0.57	
							支出コスト	千円	決) 55,368	決見) 30,268				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	見守り配食事業 (ソフト事業)	見守りと食の確保を要する65歳以上の独居高齢者世帯等	見守りと食の確保を要する65歳以上の独居高齢者世帯等に、配食を通じて見守り活動を実施	H25年度中途からの制度改正を経て、通年によるH26年度の配食数は対前年度比約56%減となっている。基準に則し適正に利用決定をしていく。	契約締結(社協)、委託料支払い事務。申請受付、審査、利用(却下)決定、通知等。事業目的に見合った制度基準により、事業の適正化を図る。昨年度比較、約4万食以上	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可 可		
	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 ■ コスト □ その他		細事業評価											
	細事業の課題	平成25年度制度改正による、事業目的に見合った対象者の適正な選定を今後も継続して行い、コスト削減に努めていくとともに、影響による課題(配食時間の適正化等)を検証し、効率化を進めていく。					B	改善案	平成25年度の制度改正による影響(配食時間の適正化等)を検証しつつ、適正な事業の推進に努めたい。					
②	友愛訪問活動促進事業 (ソフト事業)	見守りが必要な、ひとり暮らし高齢者等	ひとり暮らし高齢者に対し、定期的に友愛訪問グループが見守りを実施する。	見守りを必要とするひとり暮らし高齢者は年々増加することにより、全ての見守り対象者への見守りを実施する。	市内のひとり暮らし高齢者が約6000人であることから、ほぼ見守り対象への訪問は実施できている。	0.06	0	4,162	可	否				
□ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価												
細事業の課題	市内全地区に「地域見守りネットワーク」が構築され、対象者の重複もあることから、本市の見守り、安否確認(孤立化防止対策)事業をトータルで検証する必要がある。					B	改善案	本市の見守り、安否確認(孤立化防止対策)事業をトータルで検証しながら、事業を推進する。						

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③ ひとり生活応援サービス事業 (ソフト事業)	日常生活の中で、簡易な支援(介護保険対象外)が必要な高齢者	地域の支援員(高齢者、福祉員)が簡易な支援を実施。	制度周知とともに利用者の増加目標値は、事業対象エリアが異なっているため、仮に100人と設定した。	実績としては、ほぼ横ばいとなっており、市内全域を対象とした事業としては、利用者数が少なく、目標値とはかけ離れた数値である。	0.06	0	3,559	可	否
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 「地域包括ケアシステム」の構築に向け、高齢者が支援者となり、地域で高齢者を支える仕組みづくりとして重要な事業である。今後、需要は伸びていくと思われる中、事業の周知と担い手の確保など制度の運用のあり方や民間も含めた類似事業との再構築の検討が必要である。				細事業評価				
	④ 老人福祉電話貸与者通話料助成事業 (ソフト事業)	市民税非課税世帯の電話を所持していないひとり暮らし高齢者	固定電話の加入権の貸与	利用者の目標値を100人と設定	利用者数は、横ばい状態であるが、目標値とかけ離れた実績である。	0.15	0	1,199	否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 固定電話の貸与は、携帯電話の普及により、必要性は薄れてきていると思われる。				細事業評価				
	⑤ 介護予防中山間地域拠点事業 (ソフト事業)	概ね65歳以上の者	特に高齢化が著しい中山間地域の高齢者を対象に中山間地域の特色を活かした介護予防活動の実施	特に高齢化が著しい中山間地域の高齢者を対象に中山間地域の特色を活かした介護予防活動の実施	契約締結(かの高原開発)、委託料支払事務等(通年)	0.1	0	2,201	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業開始から約2年が経過し中山間地域の特色を活かした介護予防活動の効果の検証が必要である。また、中山間地域に住む利用者は他のデイサービス(介護保険事業)との併用のため、日数が確保できず、稼働日数が伸びない傾向にある。				細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<ul style="list-style-type: none"> 見守り配食事業、友愛訪問事業、老人福祉電話貸与者通話料助成事業については、合併前より、各市町で実施。 見守り配食事業については、平成25年に食数の変更や応能負担の導入など大幅な見直しを実施。 ひとり生活応援サービス事業については、平成21年より3年間、国のモデル事業の指定を受け、地域限定で実施してきたが、平成24年より、市の事業として対象を全市に拡充して実施。 	前年度までの指摘事項	見守り配食事業については、平成25年度途中(10月)においての制度移行であり、平成26年度において完全制度移行後の見直しを図りたい。	指摘事項に対する改善状況	見守り配食事業については、H26年度通年の事業費は対前年度比△18,056(千円)
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 見守り配食事業については、平成26年度より年度当初からの制度移行。食数の変更や応能負担の導入の影響など、通年の動向と影響について検証が必要がある。 友愛訪問事業については、共助による地域見守りネットワークの体制構築により、今後の市が担うべき事業かどうかの検証が必要。 ひとり生活応援サービス事業については、国のモデル事業の地区限定事業より、全市に拡充実施しているが、現在は利用件数が少なく、今後の運用と周知方法等の検証が必要。 老人福祉電話貸与者通話料助成事業については、近年、携帯電話の普及により、固定電話の必要性が希薄になっている。こうしたことから、今後事業の検証をする必要がある。 介護予防中山間地域拠点事業については、事業開始から2年が経過し、事業の効果や改善について検証が必要がある。 	事業全体の課題・問題点	高齢者の見守り、安否確認事業については、平成23年度より、市民の共助による体制を構築するため「地域見守りネットワーク体制整備事業」として支援をしたところであるが、見守り配食事業や友愛訪問事業等は、「地域見守りネットワーク」と目的は類似していることから、共助と公助の役割分担を明確することで、見守り・安否確認事業の検証を図り、本市の見守り体制を構築する必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める	評価理由	<p>①見守り配食事業については、平成26年度より年度当初から制度改正が適応され、影響等から目的に沿った事業成果とコスト削減等の効果の検証を行なう。</p> <p>②友愛訪問事業や④老人福祉電話貸与者通話料助成事業については、現在のニーズにあった事業であるか検証が必要である。</p> <p>③ひとり生活応援サービス事業については、介護保険制度を補完する事業として、有効性も高いことから、利用者の拡大を図るとともに事業の再検証が必要。</p> <p>⑤介護予防中山間地域拠点事業については、事業開始から2年が経過し、事業の効果や改善について検証する必要がある。</p>	改善案	<p>今後、「地域包括ケアシステム」構築に向け、見守り・安否確認（孤立化防止対策）事業をトータルで検証する必要があり、関係者や学識経験者の意見を聞きながら各事業の有効性及び必要性について、再検証を行う。</p>
		B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続				
		C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し				
		D 休止・廃止の検討				

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	<p>所管課評価のとおり、今後の高齢者人口の増加に伴い、地域包括支援センターや孤立化防止対策事業の抜本的な見直しを図る必要があるため、委託事業所や関係者、学識経験者の意見を参考に検討を進めていく。</p>

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
見守り配食事業の食数の見直しを行ったことによる減額。

備考